



巻頭言

剣友会長 山田真矢

今年の国公立大会の男子個人戦で小原選手が四十六年ぶりに優勝を果たしました。細川良一さんが優勝して以来のことで、来年も、さらなる活躍が期待されると思います。

その国公立大会の団体戦で優勝したのは、今から四十三年前の昭和五十六年。主将は今年六月に他界した大重和也さんでした。大重さんは、外大剣道部に入学した当初から、面を中心とする豪快な剣道で、学年がひとつ上だった私は、すごい後輩が入ってきたぞと期待と焦りが入り混じる思いでした。国公立大会で優勝を決めた東京芸大との決勝戦で、大重さんが副将として返し胴で勝利した瞬間は今でもはつきり覚えています。あのとき、大重さんが外大剣道部に在籍していなかったら、国公立大会優勝にはたどり着けなかったでしょう。

大重さんは、外大卒業後、当時の太陽神戸銀行（現在の三井住友銀行）で激務をこなしながら、新堀先生が師範を務めていた練馬区剣道連盟で剣道を継続し、五段、六

直心第 46 号発行
令和 7 年 1 月 6 日
〒183-8534
東京都府中市
朝日町 3-11-1
東京外国語大学
東京外語大剣友会
東京外語大剣道部

段、七段と瞬く間に昇段していきました。七段に昇段したのは、四十歳台前半だったと思います。外大剣道部始まって以来の最短期での七段昇段で、お仕事が落ち着いたら外大剣道部の指導者をお願いすることを期待していました。新堀先生の気持ちも同じだったと思います。私は三十歳台前半のとき、インターバンクの剣道大会と一緒になったことがありましたが、大重さんは三井住友銀行剣道部のレギュラーとして、大活躍していました。

私が大重さんと一緒に出た最後の試合は、九年前の学連剣友剣道大会でした。五十五歳以上六十四歳以下の二部団体戦で、大重さんと一緒にベスト8まで勝ち進んだことも大変嬉しかったのですが、国公立大会優勝メンバーで再び試合に出られたことに感無量でした。

新堀先生の告別式そして偲ぶ会においても、練馬区剣道連盟のとりまじめをお願ひし、昨年十一月には、学連大会のメンバーが揃わないため、出場できないか打診したりしたのですが、その時には相当体調が悪化していたはず。私は何も気づいて

いませんでした。

大重さんの奥様は、西ヶ原の剣道場の隣で練習していた卓球部所属でタイ語学科の石綿宏幸さんの同級生でした。学生時代のお付き合いはなかったようですが、奥様が三井銀行だったことから、合併の際、一緒にの職場になってお付き合いがスタートしたとのことで、合併効果による結婚とかわられていたようです。

奥様とは剣友会の皆様からのお香典をお届けしたときに、三十分ほどお話をいたしました。大重さんは、ここ数年はご両親の介護に奔走する日々で、ご自身の体の変調に気付かなかったようです。喉の痛み等を感じていたものの、病院で精密検査したのは、しばらくのち突然倒れてしまったことだったとのこと。食道がんが発見されたときにはステージ4、手術は困難でした。抗がん剤治療等は行っていたようですが、最後は全身に癌が広がっていたようです。相当痛みがあったはずですが、奥様にも「痛い」と弱音を吐くことは一度もなかったということでした。

今年も学連剣友剣道大会の季節が近づいてきました。国公立大会優勝メンバー全員で二部に出場することはかなわぬ夢となりましたが、今回は、メンバーのうち三名が出場しますので、大重さんにも活躍を見守っていただきたいと思います。

合掌

活躍に瞳目

剣道部長 野平宗弘

部からの報告や大学のホームページで部員たちが大会で好成績を収めているのを見ると、部長とは名ばかりの私にとっても、やはりうれしくなるものです。五月の府中市剣道大会では、男子三段の部では佐藤君が優勝、岡部君が準優勝、名和君が三位と上位を独占し、初段以下の部ではダニエル君が三位と見事な結果を収めました。六月の国公立大会では小原君が個人戦優勝を果たし、これは本学剣道部としては久しぶりの快挙だとのことで、よろこばしいかぎりです。このような部員たちの活躍も、野口師範、坂詰監督、そしてOB・OGの皆さんのご指導、ご支援のおかげだと思っております。この場をかりて、あらためて御礼申し上げます。

私個人は数年前に腰を痛めてから、大学業務の忙しさもあって、長く稽古に参加できずにいたのですが、部員たちの活躍に刺激され、この秋学期から、時間ができたときに少しずつ稽古に参加させてもらっています。普段、エレベーターを使わず階段を使ったり、ジョギングしたりで多少動けるようにはしていたつもりでも、久しぶりに剣道をやると、学生たちのような激しい稽古にはとてもついていけず、一週間近く疲れがとれず、自分がもうだいたいぶ年を取ってしまったことを実感します。それに加えて、前にはもう少しできていたような気がする小手打ちが全然出来なくなったりとよくやしく、もう一度基本からちゃんと学びたいと思っているこの頃です。今後も時間があるときに稽古に参加させてもらい、新主将の岡部君のもと厳しい稽古に励んでいる部員たちを応援できればと思っています。部の今後ますますの活躍を期待しております。

二〇二四年剣道部の近況と
打突の機会について

剣道部師範 野口利明

二〇二四年三月に卒業生五名を送り出した後、四月には有段者（七名）、初心者、留学生の男女計十七名の新入部員を迎え道場には熱気があふれました。最近では三名一組での稽古です。昨年の秋学期からの留学生の出身国は十四カ国と、外語大剣道部ならではの部員構成です。皆さん勉学と剣道を両立させながら週四回の稽古に励んでいます。顧問の野平先生も素振り、基本打ちから参加し汗を流しておられます。五月の府中市の大会では社会人チームを破り団体、個人で優勝、六月には国公立大会男子個人の部で和歌山出身の小原キャプテンが優勝、今後の部の躍進の兆しを感じました。多くの昇級昇段者も生まれ、このまま稽古を続けて来年はさらに大きな

成果をあげてくれることを期待しています。

現役部員の中には月例のOB・OG稽古会にも参加し先輩の胸を借りている者もいます。さらに、フランクフルトの岩本さんの娘さんやドイツの剣友、ポーランド、ロシアの剣友も来訪し千客万来でした。

さて、名誉師範の故新堀先生は常々「機会が去りやすい、経験は騙される、判断は難しい」と話されてきました。剣道に於いて打突の機会を逃さない大切さは誰もが理解しています。

改めて打突の機会について考えてみます。相手の実を避け虚を打つことが基本です。

- 一. 出ばな：技の起こりを逃さず、己の実をもつて相手の虚を打つ
- 二. 引き端：一旦引くとすぐに打って出るのは困難、相手が立ち直る前に打込む
- 三. 居ついたところ：心身の動きが瞬間的に止まったところ

他には、

- 四. 技や気力体力の尽きたところ
- 五. 恐懼疑惑の心理が生じたところ

などが打突の好機となります。ただし、相手が備えている場合もあるので、虚であるか否かを見極めなければなりません。

これらのことをある道場の先生が歌にされていますので紹介します。

・打突時の 機会逃すな 思い切れ
無理は自爆ぞ 我慢と勇氣

・剣道に 虚実は非ず 常に実
実の中にも 虚もありにけり

・隙なきは 攻め込む機会 作るべし
攻めて抑えて 誘う工夫を

難しいです。日ごろの稽古の中から会得
体得自得あるのみです。

また、新堀先生は稽古の中で「間合切つても縁切るな」と指導してくださいました。これは剣道ばかりでなく日常生活の中でも大事なことです。いろいろな事情で剣道から遠ざかっている剣友会員や部員がいます。私も二十年の中断を経て再開しました。全剣連も生涯剣道を薦めています。環境が整ったら、是非また竹刀を持って道場に来られることを願っています。大声出して大汗かいたら日頃のストレスも飛んでいきます。

現役部員の皆さん、厳しい稽古の先には大輪の花が咲くことを信じて一緒に精進しましょう。先輩方にはこれからもご指導よろしく願います。

一本にまつわるエトセトラ

剣道部監督 坂詰武史

今年も十一月三日に全日本剣道選手権が開催された。今回は全日本女子剣道選手

権も同時開催となり、結果的には例年より来場者も増え、盛り上がったようである。テレビでは史上初めて日本武道館で女子選手権が開催されたとききりに宣伝していたが、逆に言えばなぜ今まで開催されなかったのか、考えてみれば失礼な話である。ちなみに関東学生女子個人戦・団体戦いずれもまだ日本武道館で開催されてはいない。

それはさておき、結果は周知の通り男女共に東京・警視庁が久しぶりの優勝。新堀先生がご存命だったらさぞやお喜びになったであろう。両優勝者とも気迫十分の試合であった。また両者ともメンとコテの二本勝ちであった。ただ、スローで観るとこれもまた両者ともコテは完璧に打突部位を捉えているのだが、メンはいずれも「もしかして当たっていない？」と思われる映像であった。

さて後日これに噛みついたのが某剣道ユーチューバーのKくんである（彼はいろいろと噛みつくのが趣味のようだ）。曰く、一本とは言うまでもなく「充実した氣勢、適正な姿勢をもって、竹刀の打突部で打突部位を刃筋正しく打突、残心あるものとする」のであって、そもそも当たっていない（＝打突していない）のであればこの定義が成り立たない。解説者のT先生がおっしゃっていた「当たっていないが一本」などあり得ない、つまりあれは誤審なのだ。なるほど、この論理についてはその通りで、反駁する余地はない。ではどうするか。

だいたい次の意見に二分される。一つは「審判がもっと研鑽を積むべき」、そしてもう一つは「ビデオ判定を取り入れるべき」だ。後者についてはここ十数年来のネット動画の普及や映像技術の精度向上もあり、毎年のように議論される事案で、先ほどのKくんも実験的にビデオ判定ありの大会を企画している。ただこれについては剣道界を揺るがすほどには至っていない。剣道界の権威ある方々がだんまりを決めているからではないか、という批判もあるようだが、そもそも全日本選手権レベルの選手がビデオ判定を強く望むかというと、そうは思えないのである。理由はうまく言えないが、剣道の試合とはそのようなものではない、と肌で感じていらっしやるのではないかと思う。

そうなるともう一つの「審判が研鑽を積む」はどうか。これは市井の剣道普及にとつては非常に大切で、特に子供の試合審判は「その子が今後剣道を続ける気になるかは君らの判断一つにかかっているんだよ」と普段から大先生にプレッシャーをかけられながら毎回汗をかいて務めているが、本当に難しい。例えば小学校低学年同士の試合であれば自分なりに有効打突の基準を下げて、「この力量同士でこれくらいなら一本」と判定できるのだが、低学年の初心者と高学年の上級者が対戦した場合、同じように判定できるだろうか。「初心者としては一本」が、上級者の観点だと一本にはならないので、両者が試合をするについ

恣意的に基準が上級者に寄ってしまい、初心者の一本が見逃される、あるいは一本ではなくなってしまうのである。このあたりはぜひガイドラインがほしいところだが、いずれにしても継続して技術の向上に努めなくてはならないところである。

話を全日本選手権（男子）に戻すと、審判は全員教士八段、あるいは若手範士八段といった剣道界最高峰の先生方がされるわけで、観ていてさすがと思われる点がいくつもある。その先生方でも「当たった」「当たらない」については議論を呼ぶ場面が出てきてしまう。課題はそこだけのようだが、これは永遠に続く課題ともいえるだろう。やはり人間の動体視力には自ずと限界がある。

さてKくんの動画のコメントには「（こんなことなら）生まれ変わったら剣道はやりたくない、子供にもやらせない」といった書き込みもあるが、これについては少し意見がある。奇しくも同じ十一月三日に母校の高校で卒業生・現役部員を交えた親善試合が行われた。「桐剣杯」と名のつく、いかにも格式がありそうな大会だが、この種の大会としては相当にユルイ。何しろ出場者の中には年に一回この日しか面をつけない者もいるし、審判は更に輪をかけて卒業以来一度も竹刀を握っていないとか、あるいはコロナルールって何ですか、という輩もいる。従って一本の判定も「？」マークが頭の上でいくつも踊っていたりする。それでも本気になって抗議する者はいな

いし、逆に親睦のネタになるのだ。また、この大会がきっかけで剣道を再開した者もいる。「なんちゃって一本」も剣道のすそ野拡大に意外と役立っている部分があるのである。

最後に、やはりKくんの動画のコメントになかなか秀逸な一本の定義が書き込んであったので紹介する。「一本の要件を打突の機会、姿勢、部位（正確に当たったか）の要素から総合的に判断する」というものである。Kくんも「しつくりきました！」と返している。なんだか政府の答弁みたいな表現ではありますが、剣道試合・審判規則とは別に、申し合わせ事項として使ってみるのもいいのではないだろうか。

（注：久しぶりにテレビでPUFFYを見たので、彼女らの名曲から題名を拝借しました）



剣友会員近況報告

昭45D 小笹正美

特に報告するような事は有りませんが、日々の老化の加速に対しブレーキをかけるような生活を送っています。例えば、腰痛に対してはジョギング（とはいえ速歩より遅い）を、高血圧や糖尿病に対してはノンアルコールや糖質0のビールを、認知症予防に数独やクロスワードパズルを、と然し、万能の対策はやはり剣道です。継続している限り認知症にもならない、と某範士がおっしゃっていました。という次第で「生涯剣道」を目指しています。

昭46D 町田博淳

幼き頃の思い出
—面白きことも無き世を面白く—

一・警察予備隊と航空自衛隊

私は終戦直後の生まれで日本国憲法が公布された年である。憲法の根本には日本に二度と戦争を起こさせない仕掛けが組み込まれた。ところが一九五〇年に予期せぬ朝鮮戦争が起きてしまった。日本に駐留していた米軍は国連軍として総体で朝鮮に派兵され、日本はもぬけの殻になってしまった。

アメリカは占領地日本に何個師団かの軍隊を駐留させる必要があったが、マッカーサーは折角GHQに作らせた日本憲法の意図に反して再軍備をさせることはできないというジレンマに陥った。そこで考え出したのが、軍隊ではなく警察の変形だ。その名を「警察予備隊」という。これが出来たのは一九五〇年で僕が四歳の時だった。

家の前を百人くらいの兵がザックザックと行軍の訓練をするのであるが、幼児の私にはもの珍しく感じられすぐに家の外に出て見物していた。それは五歳か六歳くらいの頃だったと思う。明らかに警察官の制服ではなく軍装そのものであった記憶がある。これが自衛隊に発展するのは僕が十一歳のときである。

私の故郷防府にはかつて海軍の通信学校や海軍兵学校の分校があった。今では航空自衛隊北基地、南基地として利用されている。北基地は航空自衛隊の練習基地として重要な役目を担っている。練習機が防府の上空を訓練飛行で飛ぶのは日常の一部だった。当然のことであるが、音が五月蠅いはずなのだが、五月蠅いと思ったことはない。問題になった記憶もない。学校の窓も二重にして防音対策をしていたので何も支障はなかった。年に一度は北基地を住民に開放して見学させてくれた。駐機してある練習機にも載せてくれるのである。また岩国基地から米兵が来るので英会話の勉強の相手としては好都合だった。ただ一

度ではあるが悲しい事故が起こった。わが家から徒歩で十分くらいの田んぼに練習機が墜落したのだ。飛行機の前半分は田んぼにめり込んでいた。隊士二人は亡くなった。

二. マラソン選手

防府には貞永信義というマラソン選手がいた。朝日国際マラソンで優勝するなど輝かしい実績を積み上げていた。晩年は鐘紡防府工場のマラソン部の監督を勤めていた。

彼はわが家の前を走って通勤していたので偶に見かけることがあった。当時は道路が舗装されていないので足跡が残った。其のストライドは大きく、子供の私には二歩分以上だったかと思う。私はその足跡を目印にしてびよんびよんと一人で遊んだのをまだ鮮明に記憶している。防府はマラソンと縁があるので今では毎年十二月に読売防府マラソン大会が開催されている。一昨年、前市長（全国市長会会長）の傘寿の祝賀会があって参列した時にオリンピックメダリストのエリック・ワイナイナが隣に座った。市長には大変可愛がっていただいているので駆け付けましたと言っていた。全国の市長、安倍首相の命令に反して裏金を作った自民党安倍派の議員数名、山東昭子議員、前埼玉県知事の上田清司議員も参列していた。市長の交遊の広さを垣間見た総勢三百名の集まりだった。

三. 餅つきの思い出

最近は家庭で餅つきをやる家はあまりなきそうだ。「佐藤の切り餅」など簡単に買える時代になった。私が子供のころは年末になると分家も来て家族総出で餅つきをやった。朝の三時ころから父と叔父がつき始めるのである。石臼に十分蒸しあがったもち米を放り込んでどんどんついていく。打ち粉を広げ、つきたての餅を千切つて丸めていくのであるが、忙しいので子供の私も手伝った。そのまだ熱い餅に大根おろしをつけて食べるのは本当に美味しかった。古い田舎の実家には使われなくなった石臼が土間の片隅に置いてあったが、なにやら白が寂しそうだった。

四. ある教師の話

私は中学校に上がる前は近所の悪童たちと遊び惚けて勉強というものをしたことが無かった。中学校に入ると母が心配して、かつて代用教員をしていたころの上司に頼んで分らないところがあればいつでも教えてもらいに行ける関係を作ってくれた。特に数学を教わった。あのころ先生は定年退官し、市の教育長を務めておられたと思う。

実家から自転車で三十分程度はかかる丘の中腹に先生の家は在った。喧しい蝉の鳴き声を聞きながら自転車を押しながら先生のお宅に上っていくのである。先生のお宅からは瀬戸内が眺望でき、手前のミカン畑の向こうには晴れた日は国東半島が

見えた。

毎回遊び疲れていくので勉強を始める頃には寝落ちしてしまうのである。目が覚めると「お目が覚めたか。じゃあまた始めるか」と言っていて始めるのが常であった。虚弱体質ですぐ寝てしまうのは予備校、大学でも治らなかつた。

先生のお陰で中学の卒業式では卒業生総代となった。母へのささやかな恩返しが出来たかな？ 先生は謝礼を一切受け付けない人であった。先生は「私はお金は要らないんです」と言われ、母が困っていたのを思い出す。この無私の精神から大きな影響を受けたと自分では思っている。

この先生は旭化成の社長になった山本一元さんの父親である。「この親ありてこの子あり」を想う。なお、山本家の後ろには岩本という家が在って、なんでも陸軍大佐の家だと聞かされていた。それよりも息子息が東大教養学部で物理学の教鞭をとった岩本文明教授の実家である方が私にはインパクトが大きかった。母は「山本先生を見習って、金を積むより徳を積むんだよ」とよく言っていたが、どちらも心もとない。日暮れて道尚遠しの心境である。

五. いま思うこと

社会に出て寒風を受け、大方が煮ても焼いても食えぬ大人になっていく中、「恩」を忘れず「一筋の純情」を保って老いていくことは尊いことだと思っている。『菜根譚』にも「人と作(な)るには一点の素心

存するを要す」とあるが、青いと言われようが混濁の世であればこそ、この「素心」を持ち続けることは大事だと思う。この意味において剣友会の面々は立派にその素心を保っている人たちだと思ひ、ひそかに敬意を抱いている。新堀範士の下でその薫陶を受けたことは幸せな事だった。今この歳になって大した望みもなく望蜀の誹りを招くことはないが、閑雲野鶴を友として生きる心境にはまだ程遠い。

田舎の事を書いたこともあり、余談であり、且つ蛇足でもあるが故郷のための観光案内をさせてもらうことを許してもらいたい。

私が卒業した山口県立防府高校の後ろには桑山と言う小さな山があつて、高樹のぶ子(本名は高木信子、芥川賞受賞、芥川賞選考委員)の『光抱く友よ』に出てくる。この山には古いお寺があつて、そこに聖徳太子の弟の来目皇子の墓がある。また初代群馬県令となつて富岡製紙場の維持、発展に尽力した楯取素彦(旧名小田村伊之助、吉田松陰の義弟)、夏目雅子(伊集院静の妻)の墓もある。桑山は小学生のころの遊び場の一つであつた。

高校の剣道場の外には野村望東尼(福岡藩士野村某の妻、高杉晋作を看取つた)の旧宅があり、高校の東には周防国衙跡があつて、平安時代に国司となつた清原基輔に随行して清少納言が下向し、四年間幼年期を過ごしたと言われている。平安時代には

この周防一帯は東大寺領であり、今の東大寺と大仏様は、周防から切り出された木材で再建されている。何台にも連なる筏を組んで瀬戸内を漕いで大阪まで運び、そこから陸路で奈良まで運んだのである。東大寺を再建したのは宋への留学から帰国した俊乗坊重源で、国衙の東には重源が建立した阿弥陀寺がある。季節になると紫陽花が美しい。

しかし何と言つてもここには日本最古の天満宮がある。菅原道真が大宰府に落ちていく途中、白砂清松の風景が目に入り、そこで休憩をした。大宰府に向かっていざ旅立つときに「我が魂魄はこの地にとどまらん」と言つたという故事に倣つて没後天満宮が創建された。天満宮は源義経が壇ノ浦の戦いの前に本陣を敷いたところである。天満宮の並びには奈良時代に創建された国分寺があり、ここの仁王像はこどもの小生には怖かつた。

関ヶ原のあと毛利家(大江広元の子孫)は百二十万石から防長二州三十六万石に減封された。元就の孫輝元は三田尻(今の防府)に築城したいと家康さんに届け出たが、家康さんの答えはNOで広島から山陰の萩に追いやられてしまった。二度と江戸に攻め上つて来ないように辺境の地に押し込んだのである。防府は良好な港があり、瀬戸内水軍は毛利家に臣従して無傷で残っている。茲に城を築かれたら危険だと家康さんは考えたに違いない。時代は下つて明治末最後の藩主元徳公の長男、元昭は先

祖が好んだ防府に本邸を構えた。其の広さは五万坪もあり、庭は見事に整備されていて、時々高校の帰りに立ち寄ったものだ。博物館とゴルフ場が併設されている。

三田尻港の近くには幕末の政変で京都を追われた三条実美ら長州系の七卿が住んだ毛利家の迎賓館「英雲荘」が遺されている。西郷隆盛、大久保利通、坂本竜馬、田中光顕、高杉晋作らもここに集った。防府市の西、鑄銭司村は大村益次郎の生まれた村であり、墓が建てられている。小生の実家の近所には津和野藩亀井家の藩医であった森静雄（旧名吉次静雄、森鷗外の父）の実家があった。

昭 49 C 金井 正

甲辰の歳も押し詰まりました。私達が新たに師範をお迎えし幾歳か、嬉しい事に往時同様、現役そして剣友会の活動も相変わらずの盛況です。

そのような中、この夏の山中湖合宿に小生も参加させて頂きました。それも何と全日程を共にして、現役部員に迷惑をかけ通しました。これからお仲間に加えて頂きますので、何卒お見放しなきようお願い致します。

では、次なる懇親会にて多くの皆様にお目にかかれませう期待しております。

昭 52 In 渡部清人
三回目の台湾赴任で高雄に駐在中ですが、遅まきながらそろそろリタイアかなと思ふこの頃です。

昭 54 R 加藤賢一

二〇二四年三月末でフルタイムの会社員生活を終え、四月からは一般社団法人クリーン燃料アンモニア協会の事務局で、週三日パートタイム職員として働いています。毎週四連休の生活を送っていますが、これまで手をつけられなかったことが山積みで、それに取り組んでいるところです。外語会の理事としての活動（キャリア支援委員会）やロシア・CIS関係の会合にも参加しており、一見すると時間があるように見えますが、実際には時間が足りず、以前と変わらない忙しさを感じています。

昭 54 S 三浦智子 (旧姓 藤田)

老化も進み足腰も痛いので、歩けるうちに、夏はオランダへ三週間弱の一人旅をしてきました。円安だし、機械に弱くて携帯もカードも上手に使用せず大変でした。しかし、ヨボヨボうろうろしているとみんな親切で、歳を取るのも悪くないとも思えました。

仕事は高校を含め、英語、スペイン語、日本語を教える講師や活動を続けていて

結構忙しいです。平和な世界と、皆様の健康を心から願っています。

寿退社

昭 55 E 狩野良規

男女雇用機会均等法制定（一九八五年）以前には、「寿退社」なるものが普通の現象だった。つまり、結婚したら女性は会社を辞める。「クリスマスケーキ」なんてことばもあったなあ。女性は二十五歳を過ぎたら安く買い叩かれる、それまでに結婚しろ、と。

大学在学時、ある教員が学内のニュースレターに書いていた——東外大女子卒業生の平均就職期間は三年に満たない、せっかく外国語を習得したんだから、もう少し働いてもいいのではないか。

わが妻は僕と結婚しても寿退社せず、それでも妊娠を機に退職した。今でも「私は四年も働いた」と、どこか自慢げに話す。だが、時代は変わった。先日、新聞に、最近の若者は昭和のことばを知らない、寿退社を、長年勤めた会社を定年退職する意味だと思っている、という記事が載っていた。

僕は今年、二〇二四年三月で青山学院大学を定年退職した。寂しさは——不思議なほど、ない！ これでもう若者たちに説教しなくてすむ、先生と呼ばれなくなる、そしてなにより組織から離れられる。まさに解放感でいっぱいだ。なるほど、女性も長

年働くようになり、転職も当たり前になり、終身雇用が制度としてよりもむしろ若者の意識からして崩れ去った現代において、生計をたてるためとはいいながら、よくぞ三十八年間も同じ職場に宮仕えをしたものよと、わが身を誉めてやりたい気持ちである。

寿退社、二十一世紀においては、間違いなく、定年退職の意味になった。やれやれ、めでたきかな、定年！

昭 57 E 白勢京子

相変わらずワークライフバランス維持、終活に向けた貯筋のため、仕事の傍ら、推活、旅活、温活、ヨガ・山活、農活、歌活、踊活に精を出しています。ちなみに先月末は大泉活で奥様白寿祝い会、昨日は久々映画活（狩野塾）でアランドロンを堪能しました。

長女とK-POP、WEST. のライブで弾け、次女や姉と海外や温泉に出かけてリフレッシュ、週一ヨガと月一登山で貯筋に努め、年数回山形と秩父で農業体験（実は半分温活）、月二回地元混声合唱団でラシーヌ讚美歌、シベリウス、ハレルヤコーラス、メイン州立大学学生歌など古典から現代に至るまで歌で各国を巡り喉貯筋、月一来日するマウイのクム（師匠）にフラを習いハワイ音楽に浸り、長期休暇は社交ダンスサークルで古典のワルツやジルバ、ラテンのチャチャ、タンゴなど各種リズムを

体で感じ、癒されています。各種舞踊に剣道の要素を求めてきたのか、最近はスポーツ参加で摺足がそっくりな琉球舞踊に足を踏み入れて、二年後に退職したら琉球中心かなと思案中です。

昨年、次女の名古屋新人研修担当が坂井さんちの武蔵君だったのも驚きでしたが、五月に次女と海外外語会訪問ツアーでマレーシア支部との交流会に参加したら、支部長が剣友会の小田さんでした。新堀先生の素敵なサブライズ！ 今後も大いに期待しています（笑）。

昭 57 R 飯野政秀

メキシコ点描

ロシアスクールからラテンスクールに

華麗なる転身（？）を果たし、メキシコに来て早二年が過ぎようとしています。今住んでいるケレタロウという街はメキシコシティから二〇〇キロ程北西に位置し、標高一九〇〇メートル程のとても気候の良いいところ。メキシコに於けるワイン産地でもあり、近郊にはワイナリーが点在し、週末などにたまにテイステイングと食事に行きます。日照時間が長く日差しをいっぱい浴びて育った葡萄は糖度が高く、同じ品種でも欧州のワインとは全く違ったテイストが楽しめます。メキシコに来て初めてデイスカバーしたのが、このメキシコ産ワインとコーヒーズ。共に生産量が少な

くほとんどが国内で消費され、輸出に廻らず、日本ではほとんど馴染みないメキシコ産ですが、共にイチ押しです。

週末は余り他にやる事がないので、体を鍛えています。残念ながら当地で剣道は出来ませんので、一回六〜八キロのラン、ジムで筋トレ、最近ではテニスコーチを雇い一時間びっしりマンツーマンでプライベートトレッスを始めました。これは結構応えに慣れると、日本帰国時に家の近所を走るととても楽で、高所トレニングの効果を感じています。又、仲間を呼んで家でバーベキューパーティーをたまにやります。こちらは場所と食材を提供して、飲んで食べる専門ですが、メキシコ人は総じてバーベキューが好きで、終了後の後片付けを含め、実に手際良く事を運んでくれます。

さて、メキシコは私にとって、ロシア、インド、英国、スイスに次いで五カ国目の駐在国となりますが、来る前に想像していたよりも、気候良し、食事良し、人も良し、治安の悪さを除けば、結構住みやすいところ。その治安の悪さですが、メキシコが犯罪大国の烙印を押されているのは、アメリカの巨大マーケットを背景に乱立する麻薬カルテルの為です。強力なカルテルは軍隊組織を持ち、カルテル間及び警察権力との抗争が後を絶たず、意に反する政治家、実業家、警官など残忍に殺害されたりしています。麻薬マネーは政界や警察権力にも流れ汚職は恒常化しています。民間人

が凶悪犯罪に巻き込まれるケースは稀とは思いますが、窃盗強盗の類は頻繁に起こるので、危険地帯には絶対近づかない、あらゆるリスクは極力遠ざける事を常日頃心得、一定の緊張感を持って生活しています。因みに、ロシアの革命家トロツキーが政敵スターリンに追われ亡命し、スターリンが仕向けた刺客に、頭にピッケルを刺され暗殺された終焉の地がメキシコである事は何か因縁めいたものを感じます（そんな事を思っているのは自分だけです）が笑。いずれにせよ私はメキシコの片隅で朽ち果てたくないですが！。

話は変わりますが、最近読んだ本でお勧めはサミュエル・ハンチントン著『文明の衝突（原題 The Clash of Civilizations）』。一九九〇年代中頃に書かれた本ですが、一九九〇年代と言えば、ソ連崩壊、ドイツ統合後、東西冷戦終焉、米国の一極集中ヘゲモニー主義が始まり、欧米によるNATO拡大政策が開始された時期ですが、本著はこれらの行動を厳に戒め、現在起きているウクライナや中東に於ける紛争を予言した、大変示唆に富んだ名著と思います。是非一読をお勧めします。

色々取り留めない事を書きましたが、末筆ながら皆様のご健勝、外語大剣友会、剣道部の今後の益々のご発展を、此処メキシコの地より心より祈念致しております。

昭 63 R 松澤謙一

生まれ育った思い出深い東京を二〇一九年に離れ、北九州市に転居しました。四年後はこの地で定年退職を迎える予定で

す。
今年六月より、十七年ぶりに剣道を再開しました。さすがに年齢による筋力、瞬発力の衰えは隠せないものの、「勝って打つ」稽古に取り組み、新たな剣道の面白さを発見しつつあります。このまま続けば、いずれ「ねんりんピック」にでも出てみようかと思っております。

平 1 Po 山本 哲

サラリーマン人生のゴールが見えてきた今、これまで支えてくださった方々への感謝を形にしたいと思い、昨年、ボランティアで国際リスク管理教育団体の日本支部を立ち上げました。若者たちと共に、さまざまなイベントを企画し、未来を担う彼らの成長をサポートする活動に日々取り組んでいます。念願だった「Back to Campus」も、忙しいスケジュールを調整しながら続けており、霞ヶ関での議論とは異なる、起業を志す若い学生たちとの熱い討論に毎

回胸が躍ります。彼らの情熱とアイデアに触れることで、還暦を前にした私も、また新たなエネルギーをもらい、前向きな気持ちで日々を過ごしています。
最近の日本の若者たちは、本当に頼もしい存在です。バイトで稼いだお金でサンフ

ランシスコに渡り、ベンチャー企業にインターンシップで飛び込むなど、未来に向けた強い意志と、自分の力で道を切り開こうとする姿勢に、感心せずにはいられません。年齢を重ねるごとに、彼らのような若い力に触れられることが、これ以上ない喜びです。自分もまだまだ、彼らと一緒に成長していきたいと思う日々です。

平 3 C 宮島 豊

二〇一八年四月から六年間の上海駐在を終え、二四年四月に帰国しました。二か月間の上海ロックダウンでマンションに閉じ込められたのは、さすがに堪えました。日本って、何て食事が美味しいだろうと、つくづく実感した次第です。今は東京の半蔵門に勤務しています。

平 6 C 黒木良之

元氣です。五十回／年を目標に稽古しています。

平 10 RR 小野塚正樹

入部したときの主将であった伊藤貴康先輩の母校である盛岡第一高校に六年勤務したあと、今年四月から岩手県立総合教育センターで研修指導主事をしていきます。高校や部活動から離れ剣道に触れる機会がなくなってしまうかと思っていたとこ

ろ、白聖剣友会（盛岡一高剣道部のOB・OG会）から「白聖剣友会として岩手県下選手権の団体戦に出ませんか」と声をかけていただき、二十年以上ぶりに試合に出させていただきました。日頃の運動と稽古の重要性を痛感しました。

平 20 D 川音貴誉

名古屋五年目。足の痛みで剣道の稽古があまりできていませんが、毎朝の素振りだけは継続しています。最近、現役の皆様活躍が聞こえてきます。東京に転勤になることがあれば稽古にお邪魔させて下さい。

平 21 Ph 山本大樹

皆様、大変ご無沙汰しております。東京在勤が十二年を過ぎ、毎年転勤の辞令に怯えています。私事ですが、八月に第三子が産まれ家族が増えました。妻も私も両親が九州在住で手が借りられず、出生後に約二か月の育児休業を取得しました。全力で家事・育児に勤しんでいるうちに休業期間もあつという間に過ぎ、ともに社会復帰ができるのか、妻一人で元気な男の子三人をカバーできるのかの不安でいっぱいです。何とかキープしていた週一回の稽古も残念ながら八月末からお休み中で、来年昇段審査を控えているためこちらは早く復帰したい思いでいっぱいです。そろそろ長男に竹刀を振らせようと思っているので、子

どもと一緒に復帰かな。妻の稽古再開はまだ先になりそうですが、また夫婦で稽古にお邪魔できればと思っています。

平 29 C 小寺公博

転職して関東にUターンしてきました。剣道にも少しずつUターン中です。

平 30 C 北川慶彦

中国駐在生活も三年が過ぎました。また皆様と剣を交える時が来るのを楽しみにしております。その際はお手柔らかにどうぞ宜しくお願いいたします。

令 2 Pr 小林由芽

十二月より、青年海外協力隊としてアフリカのジブチに渡航予定です。二年間おられますので、お立ち寄りの際はご連絡ください。



剣道部の一年間

一月 道衣に袖を通すのすら辛い寒さが襲ってくる中、全員が懸命に稽古に取り組んだ。年末年始で休めた身体を存分に動かし、二〇二四年を新たな気持ちで迎える。

二月 帰省する部員が多く、自主練習期間は少数精鋭の稽古となった。オフ期間を利用して旅行に出かける部員もあり、各々が公私共に充実した期間を過ごした。

三月 剣道部に興味をもった新入生から少しずつ連絡がくる。どんな新入生が来てくれるのか楽しみにしながら、新歓の準備を着々と進めていった。配布用のパンフレットは納得のいくものが仕上がりに、満を持して新入生を迎えることとなる。

四月 入学式と新学期を迎える。新歓は例年以上の盛り上がりを見せ、十二人の前途有望な剣士たちが道場の門戸を叩いてくれた。一気にスケールの大きくなった剣道部に一同期待を膨らませた。

五月 新入部員が確定し、二〇二四年度新体制が固まる。関東個人・東京都学生・府中市民といった個人戦の大会で来たる国公立大会への機運を高めた。

六月 新体制で臨む初の団体戦となる国公立大会が行われた。部が一丸となり一つの目標に向かっていった。

七月 各人がレポートや試験に追われつつも稽古に取り組んだ。夏納会を以て春学期の稽古を納め、夏合宿前に稽古が再開するまで英気を養った。

八月 今年度は合宿の舞台を山中湖へと移し、猛暑の中稽古に励んだ。卒業した先輩方にもご参加いただき、活気のある素晴らしい合宿を行えた。

九月 幹部交代を済ませ、二年生ら新幹部による運営が始まった。明鏡杯や関東大会など、団体戦を数多くこなし、合宿で身に付けたものを発揮しようと奮起した。

十月 秋学期が始まり、生活リズムを戻すのに苦労した部員が多かった。十一月に控えた新人戦に向けて多くの練習試合を行い、組織としての練度を高めていった。

十一月 府中市民大会では、三位決定戦の後に表彰台に滑り込んだ。外語祭期間中も稽古をしたが新人戦では思うような結果がついてこなかった。しかし、内容は伴った試合が出来た。

十二月 多数の部員が仙台オープン大会に参加し、全国から集まった剣士と剣を

交える。多くの部員にとって試合経験を積む最良の機会となった。



部員紹介

直心二〇二四

総合国際学研究所修士二年

ムラトワ・カリナ

お世話になっております、カリナです。もうすぐ剣道の稽古を再開してから二年が経ち、大学院を卒業する予定です。この二年間、剣道を通じて多くのことを学び、自分自身と向き合う時間が増えました。剣道の技術を磨くことはもちろんですが、それ以上に、人として成長するための貴重な教えをたくさんいただきました。

今の目標は、剣道二段の取得です。二〇二四年十一月に昇段審査を受ける予定です、これから稽古を積み重ねていきたいと思えます。これまでの稽古を通して感じたのは、昇段そのものがゴールではなく、その過程で学んだことや気づきが大切だということだと思います。発見した課題や反省点を、これからの稽古に生かしていきたいと思っています。

また、この二年間(ちょっと)の間に、たくさん素晴らしい方々に出会いました。先生方や仲間たちの支えがなければ、ここまで続けられなかったと感じています。本当に感謝していますし、これからも

その気持ちを大切にしながら、もっと頑張っているように思っています。
引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

ありがとう外大剣道部

C科四年 千原菜々美

とうとう最後の『直心』執筆となりましたので、これまでの剣道人生を振り返ってみようと思います。

私が剣道を始めたのは中学一年生の時で、それから大学卒業まで続けることができました。人生でこれほど長く一つのことを続けたのは初めてで、自分でも驚いていますが、この経験は確実に自分の自信になっています。

映画『インサイド・ヘッド』では、特別な思い出が「性格の島」を形成するという描写がありますが、私の中にも間違いなく「剣道の島」が存在します。剣道の思い出は数えきれないほどあり、中学・高校・大学の剣道部で様々な人と関わり、多くの刺激を受けました。仲間たちと過ごした楽しい思い出もあれば、試合で思うような結果が出せず悔しかった経験、熱中症になりかけながら追い込み稽古をした苦しい瞬間もあります。それでも、どれも大切に一生忘れたくない思い出です。

私が外大剣道部で特に好きなのところは

「人」です。現在の剣道部は、野口師範が毎回稽古に参加してくださるといふ恵まれた環境にあります。ご本人にはお伝えしたことはありませんが、私が稽古に参加するモチベーションは、野口師範と坂詰監督の存在でした。「朝早いけど、野口師範にお会いできるから頑張ろう」「土曜日は坂詰監督もいらつしやるから稽古に行こう」——こう思うことで、早起きが苦手な私でも稽古に参加することができました。お二人は、私にとってお会いするだけでその日一日が幸せな気持ちになれる、特別な存在です。

外大剣道部とのつながりは就職活動でも大きな力になりました。OBの先輩方には、就活の相談にも親身にのっていただきました。また、面接でよく聞かれる「学生時代に力を入れたこと」については、毎回台湾留学と外大剣道部の経験を話しました。外大剣道部はOB・OGの先輩方とのつながりが強く、また留学生や初心者が多い特殊な環境で、多様な立場の人との関わり方を学べる場でした。そして、自分が誇りを持って努力できた場所であり、面接でもその経験を話すことがいつも楽しかったです。

二〇二四年八月、最後の代にして初めて夏合宿に参加しました。コロナ禍で大学生活を過ごしてきた私にとって、待ちに待った合宿でしたが、正直、後輩たちについていけるか体力面で不安もありました。それでも、いざ稽古に集中すると不思議と体が動き、全てのメニューを無事にやりきるこ

とができました。初参加の外枝杯では、先輩としてのプライドを持って挑み、準優勝することができました。これまで外大剣道部で頑張ってきたことへのご褒美をもらえたようで、とても嬉しかったです。

そして、同期の中野と津島へ。二年生から途中入部した私を温かく迎え入れ、幹部代の大変な時期も支えてくれた二人には心から感謝しています。二人と同期になって本当に幸せです。これからもずっと仲良くしてください。

最後に、何度も言いますが、外大剣道部は私が本当に大好きな場所です。入部を決めたあの時の自分を、頭をくしゃくしゃに撫でて褒めてあげたいです。そして、この素晴らしい環境を作り上げ、また私たちをいつも応援し、支えてくださったOB・OGの先輩方、本当にありがとうございます。これからも後輩たちが外大剣道部をさらに盛り上げ、長い歴史を紡ぎ続けていくことを心から願っています。

能登半島地震

Af科四年 津島杏奈

お世話になっております。時の流れは早いもので大学生活五年目ももう終わりに差し掛かりました。私が入部した二〇二〇年はコロナ真っ盛りで、大会、納会、合宿といった行事はおろか、普段の稽古さえ満

足にできない状況でした。しかし、年を経るにつれ徐々にコロナも収束を見せ、今年の夏はついに合宿にも参加することができました！ 部員も大幅に増え、年々活気づいていく剣道部をみて、五年間在学してよかったですと感じています（笑）。

さて、今年は能登半島地震とともに新年を迎えました。私の地元は石川県です。私の家は能登地方ではないのですが、海岸線が近いので、大きな揺れと鳴り響くアラートの中、「津波で家が流されたらどうしよう」と恐怖で怯えていたのを覚えています。幸い実家は無事でしたが、多くの人々が甚大な被害に遭いました。インスタグラムのストーリーは、連絡の取れない親戚の安否確認をしようと目撃情報を求める声で溢れていましたし、自分の人脈を駆使して物資を届けようと協力を仰いでいる能登出身の同級生もいました。「私も何か力になりたい」という思いは抱きつつも、当時の私は自分に何ができるのか検討がつかず、直接何か行動を起こすことはできませんでした。

そして今年の夏、ようやくまとまった時間を確保することができ、二週間という短い期間ではありましたが、能登でボランティア活動をしてきました。現地ボランティア団体での主な仕事はお家の片付け、ゴミ捨て、引越しのお手伝いでした。震災から半年以上経ち、ある程度インフラが整備され、衣食住は確保できていましたが、大変なのはこれからの生活です。家が壊れて住

むことが難しい場合、仮設住宅に引越し、家を解体することになります。解体にあたっては家の中の物を全て撤去する必要があり、仮設住宅に入らない大量の物を廃棄しなければならぬのですが、大人十人が汗を垂らしながら一日動いて終わるかどうか、という作業量です。床が歪んでいたり、ガラスの破片が落ちていたりといった危険もあり、年配の方や病気を患っている方にとっては過酷なものです。また、二年後に仮設住宅を出た後の生活も心配の種です。年金生活を送っている高齢者にとっては、新しい家を建てることもアパートを借りることも簡単ではなく、「貯金のため生活費をかなり抑えている」「心配事が多すぎて将来のことをあまり考えられない」といった声を聞きました。

ニュースで震災の様子を見ていましたが、実際に現地に足を運ぶことで気づいた課題が沢山ありました。災害ボランティアと聞くと、私もそうでしたが、「危ない」「瓦礫撤去などの肉体労働ばかり」「専門的なスキルが必要」といった印象を抱く方が多いかと思えます。しかし、現地には多様なニーズがあつて、その分支援活動も多岐にわたっていることを知りました。「何か力になりたいけど自分にはできないかも……」と思っている方でもできるボランティア活動がきつとあるはず。是非能登の復興に力を貸していただけたいと思います。私も自分ができることをこれからも探していきたいと思います。

五年間を振り返って

E科四年 中野純平

お世話になっております。英語科四年の中野です。早いもので、大学入学から休学も含め五年が経ち、大学生活も卒業まで残すところあと半年となってしまいました。というわけで、今回の『直心』では、自分の剣道部での五年間を振り返っていきたいと思います。

一年生(二〇二〇年)、緊急事態宣言下での幕開けで、新潟から毎週剣道部のおしゃべりZoomに参加するのが日々の楽しみでした。秋からは、稽古が少しずつできるようになりましたが、一年間のうち三か月くらいしか稽古はできなかった気がします。そんな中でも先輩たちがたくさんかわいがってくださり、なんだかんだ充実していたと思います。

二年生(二〇二一年)、コロナ禍の状況が続く中、後輩ができ、夏休みくらいからは稽古も中止になることなく行えました。この年は大学に入って初めて大会に出場しました。五月の関東学生で国士館大学の岩部選手(全日本学生優勝)と対戦したのを鮮明に覚えています。九月の団体は先輩もかき集めて六人で出場しました。最近はレギュラー争いができるまでに部員が増えて本当に嬉しいです。秋からは主将として号令をかけるようになりました。と言いつつも、二年生三人、一年生二人の五人で稽

古することもありました(笑)。

三年生(二〇二二年)、剣道経験豊富な一年生、やる気にあふれた留学生を迎え、本格的に主将として部をまとめた一年になりました。この年は、練習試合や大会も多く、とても充実していました。春の大会では、関東学生で初戦で負けた悔しさをバネに東京都の大会に臨み、法政大学の宇賀神選手に延長の末面を決め、勝利しました。おそらく一生に一度の大金星だと思いません(笑)。秋の大会では、府中市民大会の団地で優勝したのが一番の思い出です。それでも国公立大会では勝てず、本当に悔しかったのを覚えています。ですが後悔はなく、剣道部での活動が濃い一年を終え、主将を引き継ぎました。

休学中(二〇二三年)、前半は半年間オーストラリアに留学しました。その間も剣道部での活動をSNSで目にするたび、外大で剣道をしたいなと思いを募らせる日々でした。夏ごろに帰国し、いきなり大会に出(させられ?)ました。休学中の後半は、ほぼ毎回稽古に参加していたかと思いません。就職活動の良い息抜きになっていました。個性豊かな後輩や留学生も増えていて、この一年も充実していました。

四年生(二〇二四年)、大学に復学し、就活、教育実習、卒論に忙殺される中、うそだろと思うくらい一年生がたくさん入ってきてくれました。大学生活最後の年にこんなにぎやかな剣道部で過ごすことができ、きて本当に嬉しく思っています。春の大会

は今年こそはと国公立大会に臨みましたが、惜敗、やはり勝負は難しいなど痛感しました。そして、夏は学生としては最初で最後の合宿に参加し、そうそうたるメンバーを抑えて新堀杯で優勝させていただきました。稽古も花火も飲み会も本当にいい思い出になりました。今は秋の府中市民大会に向けて稽古に励んでいるところです。このように、剣道部のおかげで大学生活が本当に充実したものになっています。卒業まで、そしてこれからもお世話になりますが、よろしくお願いします。

個人的台湾おすすめ

ポイント三選

C科四年 小林千乃

お久しぶりです。昨年の八月より台北の国立台湾師範大学へ交換留学に行っていました。台湾では優しい人や、おいしい物、美しい景色に出会い、楽しい日々を過ごしました。帰国してからは、台湾旅行に行く人におすすめのポイントを聞かれることが多いので、皆様にもご紹介しようと思います。

一. 美食篇 ホタテ水餃子・仙草

食べ物で一番のおすすめは台北地下鉄の善導寺駅近くの餃子店「巧之味」のホタテ水餃子です。具のホタテも珍しくて美味

しいのですが、なぜか緑色である皮もモチモチで、何粒でも食べられちゃいます。日本語メニューもあるので、ぜひ食べに行ってみてください。そして、もう一つのおすすめの仙草は、台湾の伝統的なスイーツです。台湾のスイーツというと豆花や台湾カステラのほうが日本では有名かもしれませんが、私は台湾で仙草の魅力にはまって毎日のように食べていました。見た目はコーヒゼリーのように真っ黒で食べるのに少し勇気がいりますが、食べてみると漢方のような少し独特な風味があって、とても美味しいです。トッピングでタロイモやタピオカ、小豆など色々なものを選んでのせられるので、それぞれの好みや気分にあつた味を楽しめます。寒い日には温かい焼仙草も食べられるので、お腹も心も温まって一石二鳥です。

二. 人物篇 博物館

台湾人は本当に優しくて、相手が困っているように見えたらためらわずに自分から話しかける人が多いと思います。そのなかでも特にホスピタリティに溢れていると思うのが、博物館でボランティアをしているおばさんやおじさんです。私は博物館巡りが好きで、台湾でもたくさん博物館に行つたのですが、ボランティアをしている方たちはおそらく元々人と関わることや教えることが好きということもあつてか、本当にいろいろなことを教えてくれる人が多いです。私は一度、日本人観光客へ

のガイドを手伝う代わりに、お昼ごはんにデザートまでご馳走してもらいました(笑)。

三・景色篇 鹿港老街

台湾には、山や海、湖など美しい自然もありますが、個人的に一番好きなのは鹿港老街の景色です。鹿港は、台湾の歴史的な都市で、交通の面では中部の台中から一時間少しかかります。お廟やお寺、博物館、清時代の邸宅などが近い距離のなかにたくさんあるので散策もしやすく、台湾の特徴的な赤いレンガの壁が長く続く道は、フォトジェニックでもあり異国情緒を感じられます。

以上、私の台湾おすすめポイント三選でした。台湾に行く予定の方も、まだその予定はない方も、ここまで読んでいただきありがとうございます。実際に台湾で九か月過ごしてみても、私も台湾が大好きになりました。ぜひ皆さんも台湾へ行って、私の台湾好き仲間になってください。

東北ぶらり紀行

国際日本学部四年 養輪圭史郎

故郷の良さを真に知るのには、故郷を離れて生活するようになってからでしょう。私が地元を離れて既に三年半が経過してい

ます。東京での生活は充実したのですが、たまに鹿児島での生活を懐古することもあります(といつてもたった数年前の話ですが笑)。一年間の留学生活では、日本の良さを思い知らされるのが多々ありました。と同時に、自分は日本について知らないことがあまりにも多いことに気づかされました。そこで私は思い立ち、一先ず未踏の東北へひとりで行ってみました。今回はそんな四泊五日、青森・岩手・宮城の一人旅について書こうと思います。

一日目。大会翌日の爆睡。予定の時間には起きられず午後の出発。青森駅に着いたのは午後六時。駅前には繁華街。道を一本変えると趣のあるシャッター街。津軽三味線の音色に誘われ郷土料理居酒屋へ。青森ではホッケを醤油につけて干すらしい。けの汁は素朴な味わい。お客さんの津軽弁も聞けて大満足。

二日目。三内丸山遺跡を訪問。でっかい栗の木で作られた物見櫓に驚嘆。駅にはりんご自販機。品種別のりんごジュースがずらり。友人を訪ねて弘前へ。隠れ温泉県青森、嶽温泉で疲労回復。貸し切り状態、露天風呂は最&高。夕食は再び郷土料理居酒屋。じゃっば汁とホタテの味噌焼きは絶品。因みに青森ではほっかほっか亭が優勢の様様。

三日目。弘前城にはかわいらしい天守。春に行きたい。アップルパイもおいしいよ。盛岡へ。啄木・賢治青春館で文学に浸る。ちよつと啄木ファンになったかも。賢治の

『生徒諸君に寄せる』も響くものがあつた。盛岡城跡を散歩中、伝統の祭りの博物館を発見。気になったのはチャグチャグ馬コ。音の響きが良き。夕食はじゃじゃ麺発祥のお店。謎の卵スープちいたんたんも美味。

四日目。仙台編スタート。定番の牛タンは肉厚で食べ応え◎。堅守鉄壁の仙台城跡から仙台市を一望。伊達家は外大生もびつくりグロバー一族。夕食にはらこ飯をいただく。やっぱり鮭っておいしいね。セツトのカニ汁は思わぬ収穫。仙台駅周辺で夜散歩。一番の商店街は鹿児島の天文館と同じアーケード街。おっきい街でした。

五日目。最終日は松島へ。湾内クルーズ船で松尾芭蕉の足跡を追う。穏やかな海に浮かぶ島々の繊細な迫力を感じた。初笹かまは自分で焼いてみた。昼食は海鮮食べ放題のお店。一人だどちよいと寂しい。午後には復興関連施設を訪問。大災害の痕跡に心を痛めつつ、人類の底力に感動。

自分が暮らす地域のこととは意外に知らないものです。存在は知っているけれどもいつでも行けるからと何年も訪れていないお店は皆さんにも心当たりがあるでしょう。思い立って、明日にでも行ってみませんか。あなたの街の新たな魅力が見つかるかもしれませんよ。

カナダで剣道

E科三年 小原大輝

こんにちは！ 国際社会学部英語科三年の小原大輝と申します。現在は、カナダのバンクーバーにある、ブリティッシュ・コロンビア大学（以下、UBC）というところに一年間の交換留学中で、この文章も大学図書館のスタディスペースの一角で執筆しています。バンクーバーは、トロント、モントリオールに次ぐカナダ第三の都市で、山や海など雄大な自然と融合した街なみが特徴です。気候に関しては、カナダの南西部に位置しているため比較的温暖で、現在九月の終わり頃で日中は十二度と上着がないと寒く感じますが、それでも雪が降るのはもう少し先のように、極寒をイメージしていたのですが、冬の気温は東京とそこまで変わらないようです。また、人口の約半数が移民とされており、さらにアジア系の住人は人口の四割ほどと、日本人である僕が目立つようなことはあまりといた印象です。

前置きが長くなりましたが、今回のタイトルであるカナダでの剣道事情についてお話ししたいと思います。現地に到着してまだ四週間ほどしか経過していませんので、すでに十回ほど稽古の機会がありました。バンクーバーには、道場がいくつもあるようですが、新歓の日にアポを取って、まずは大学の剣道部の稽古に参加するこ

とになりました。先生はUBCのOBで現地出身の日系の方ですが、筑波大学への留学経験があり、剣道部へ所属していたそうです。そのため、体操・素振りや基本打ちなど、形式は日本のものと変わらず、徹底した指導がされている印象でした。ただ、外大の剣道部とは違い、カナダではマイナーな競技であることもあり、全員が大学から始めたそうですが、一人一人が一生懸命メニューをこなし、先生方と稽古する姿から、初心にかえらねばという気持ちになりました。同世代の経験者がいないのは少し残念ですが、自分の剣道を基礎から見直す良い機会だと思っています。週二回UBCの剣道部に加え、週末には養心館という道場でも稽古をしています。ここは、UBCの先生の紹介で知った道場なのですが、前半は子ども向けの指導、後半は大人同士での地稽古といった感じですが、基本的に日本語が通じる環境なので、日本の道場で剣道をしている感覚でカナダに居ることを忘れてしまいそうになります（笑）。大学の授業や課題とうまくバランスをとりつつ、現地の大会なども参加しながら稽古を続けるつもりです。ちなみに、僕が大学一年生の時に外大に来てくれたヘレンという交換留学生がUBCの剣道部で剣道を続けていたそうですが、今は最終学年で忙しくしているようで、帰国までには久しぶりに一緒に剣道をしたと思っています。

最後になりましたが、昨年の幹部交代から約一年間、幹部代を支えて下さった監

督・師範、OB・OGの方々、先輩、後輩、同期の皆さんに改めて感謝したいと思います。僕を含め同期の何人かは遠い場所にもいますが、新幹部チームの活動を見守っています。

どんぐりころころ

R科三年 小林春萌

秋が深まり、路面のどんぐりが目立つ時期になってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は至って元気にはしております。ところで、皆さんは五感のどこで秋を感じますか。私は俄然嗅覚です。落ち葉の香りと、しけた土のにおいを嗅ぐと、ああ、秋が来たなあと思うものです。人によつては紅葉、空の色、または鳥や虫の声から秋を感じることでしよう。情報を読み取る際に使用する感覚は多岐に渡り、同じ景色でも人によつて違うように見えるのはそのおかげなのでしょう。また時にその違いは、コミュニケーションの場において顕著になるのかもしれませんが。

つい最近のことですが、どうやら私は話を「聞いて」理解していることがあまりないことに気がつきました。ほとんどの人がそうかもしれないですが、相手の表情、状況、それまでの会話の積み重ねをもとに、相手の言葉が直接鼓膜に届くより早く脳内で勝手に対話を重ねてしまう事が多くあり、

それは母語から離れるほど自覚しやすくなりません。

これは語彙や言語運用能力の欠如を補う一次的な方法だと思えますが、自分でも気がつかないうちにこのような感覚的な対話に慣れ、相手が真に伝えはよとしている物事に対して傾聴する努力、言葉を扱う努力を怠り、母語も外国語も勉強せずに済まそうとしてきたツケはそろそろ回ってくると思う、というかももう回ってきているので、今日からお勉強を頑張ろうと思えます。

どんぐりの背比べとはよく言った(言われた)ものですが、実際にはどんぐりは種類ごとに大きな違いがあります。日本によく落ちていて中ぐらいの幅が広くころっとした一番可愛いどんぐりはコナラの木の実です。ちなみに、日本固有の植物、マテバシイから落ちるどんぐりは、食用にすることもできます。海外で見るとどんぐりは心なしか日本のものより大きい気がしますが、一概にどんぐりとまとめて言いますが、ドングリがなるのはブナ科の樹木で、ブナ科はさらにブナ属、コナラ属、シイノキ属、マテバシイ属、クリ属に分かれ、驚くほど多様な木の実なのです。このように多種にわたり生存競争を生き抜いているというのに、各々の個性を無視して他種からの視点で一概に「どんぐりの背比べだ」などと言ってしまうのはいささかどんぐりに失礼ではないでしょうか。

こんなことを書いておきながら、私は別

種を見れば全てがコピー&ペーストに見えてしまうようなしようなない感覚を持っていきます。しかしながら、それだからこそ時には普段自分が一番頼っている感覚とは別の受容体で物事を受け止めてみたら、今までよりずっと楽しい世界を見つかることができるのかもしれない。感覚も剣道と同じ、使い方の練習あるのみ、なのかもしれないと思った二〇二四年の秋でした。

つぎつぎ二〇二四

D科三年 佐藤立樹

みなさん、こんにちは。ドイツ語科三年の佐藤立樹です。私は大学一年生の時に始めたスーパールのレジ打ちのバイトを三年生になった今でも続けています。今回は、これまで培ってきたレジ打ち技術の極意のいくつかを書き留めておこうと思えます。しかし、レジ打ち道(ウェイ)の全てを語るにはあまりに膨大な時間が必要となるため、ここでは読者の皆様が気になるため、ここでは読者の皆様が必要としているであろう要点を質問にしてランキング形式で紹介していきます。レジ打ちのコツがいまいち掴めない、レジ打ちをしてみたいけどなかなか一歩を踏み出せない、そんな人たちの背中を押し、皆様の良きレジ打ちライフの一助となれば幸いです。なお、紙のサイズの都合上第一位のみの発表

となります。

第一位 カゴに詰める時に意識していることはなんですか？

レジ打ちの仕事と言ったらやはりカゴ詰めでしょう。差し出された商品をスキヤンしつつ、別のカゴに詰め替えてお客様(以下、客)にお渡しするこの業務は、レジ打ちの最も主たる仕事と言っても過言ではありません。状況によって変わることもありますが、大原則としては重いもの、固いもの(変形しにくいもの)を優先的に下の方へ置くようにするとよいです。軽いスナック菓子や柔らかい野菜などを下の方に置くと全体の重みで商品が潰れてしまう可能性が出てきます。潰れやすいものはスキヤンしたのちに一旦かこの外側に待機させておくのが吉です。卵は一般的に潰れやすいと思われていますが、実は卵パックは四キロの重さにも耐えられる構造をしており(二十キロにも耐えられるとの噂も)、下の方に置いても特に心配はありません。むしろ、卵のパックはその形状と固さから土台を形成するのに非常に適している商品であるため、店員としては積極的に下に置いていきたい商品なのです。しかし、多くの客はこのことを知らないため、卵パックを潰れやすい位置に置くことを快く思いません。卵に敏感そうな客の前では素直に上の方に置くのが良いでしょう。これ見よがしに最上部においてアピールするのも良いです。客の機嫌を損ねないこ

とが最優先です。土台を形成するのに向いている商品は紙パックの飲料、プラスチックパックに入ったお惣菜・刺身、ジャガイモ・玉ねぎなどの重い野菜などです。カップ麺は下に置くのに適しているようにも見えますが、重量が軽いので最後の締めとして上に乗せることも可能です。他の商品との組み合わせを見てどこに配置するかを決めましょう。

次に注意しなければならぬことは温度です。温かいお惣菜の上に冷凍食品などを置いてしまうと大変なことになります。私は一度これで呼び出しを食らいました。一つのかこの中でも温度差のある商品はあるだけ離す、もしくは直接的に触れ合わないように配置することが大切です。熱々の商品の上に常温の商品を置くだけでも仕切りとして機能することが多いので活用しましょう。さらに気を付けるべきは果物の扱いです。高価で潰れやすい果物を扱う時には細心の注意を払いましう。乱暴に扱おうと苺がパックから零れたり葡萄の粒が簡単に落ちたりしてしまいます。果物の上には何も置かないようにした方が良いでしょう。私は苺の上に熱々のココロケを置いて怒られたことがあります。みなさんも気を付けましょう。

増量を与える剣道への影響

In科三年 猿田健太

日頃お世話になっております。言語文化学部 In科三年生の猿田健太と申します。今回のテーマは「増量」であります。このタイトルから察せられるように、実は私、増量をいたしました。増量と聞けば皆様は想像される体重の変動はせいぜい五キログラムくらいのものではないかと思えます。しかし私の場合は、一年前の今頃と比べて十五から二十キログラムほど体重が増加いたしました。なかなかこれほどの増量を成功させた方はいないのでないかと思えます。今回はその体験を踏まえて、個人的に体重増加によって剣道にどのような影響が出たと思うかということを書かせていただきます。

まずひとつ目の影響は打ちの強さです。もともと小学生のころは体が大きく打ちも強い方だったのですが、袴に躓いて転倒したことによる骨折を契機として痩せ細ってしまい、そこからしばらく打ちが弱いと指摘される時期がきました。しかし今回増量を終えた結果、少なくとも増量前よりは打ち・踏み込みともに迫力が増したのではないかと感じております。そしてふたつ目は着装への影響です。もともと線が細く、道着や防具に着られてしまっているような着装になってしまっていたのですが、これも体が大きくなることによってかな

り改善されたのではないかと感じております。

ここまではよい影響しか書いていなかったのですが、もちろんよくない影響もございます。皆様が薄々お気付きのように、これまで私はこの体重変化を「増量」とばかり続け、詳細を書くことを控えていました。しかし実際のところ、もちろん筋肉による増量という面も確かにあるでしょうが、実際にその要因となったのは主に脂肪であります。つまり動きの俊敏さに影響を与えるであろう筋肉があまり増えていないため、動きが若干スローモーションになってしまっているという欠点があるので。また、剣道とは関係ないのですが今までぶかぶかだったズボンが履けなくなるという現状には涙を禁じ得ません。しかも来年の三月にはカナダにワーキング・ホリデーに行くという予定もあるので、今後さらなる「増量」を果たしてしまう可能性すらあります。計画的に食事をし、剣道に негаティブな影響のない範囲で減量をするのが今後の目標だと感じております。

最近の変化について

D科三年 田巻瑤子

あつという間に三年生になりました。ついこの間までモップ掛けや太鼓運びをしていたのに、どちらも久しく触っていま

ん。部旗やガムテとの奮闘も恋しいもので、す。これも後輩たちがしつかり引き継いで、仕事をしてくれている証拠だと思います。さて、大学生活も三年目を迎え、いくつ

か変化があったためお話しします。まず、私自身の変化について、それはズバリ「小食化」です。入部して間もなく、剣道部の中で「たまちゃんは大食い」という共通認識が出来上がっていました。私自身、それまで大食いを自覚していませんでしたが、言われてみれば一食米二合と油そばW盛は普通に平らげていました。ただ、北海道で一日に海鮮丼二杯、ラーメン二杯、ジンギスカン六人前を食べた時はさすがに限界を感じました（翌々日、腹痛で稽古を休む羽目に）。さらに、追い打ちをかけるようにウイルス性胃腸炎にかかり、これまでとは打って変わって水とゼリーのみの日々が続きました。恐らく、これを機に私の胃はしばみ始めたのだと思います。復帰してから、これまで通り空腹を感じるもの、ご飯二杯で「もういいかな」と思うようになりました。これまで、「大食い」が私のアイデンティティと言えたのですが、今やそれを失い寂しさが残ります。とはいえ、食べる量が多くてもあまり良いことは無いので、無理に戻そうとせず、このまま留学も乗り切ろうと思います。量より質。今後は一口一口、米一粒一粒をしつかり噛みしめ、味わって生きていきます。

二つ目の変化は、「にしむらゆうじの浸透」です。にしむらゆうじのキャラクター

は、丸くつぶらな瞳と大きな口が特徴的で、豊かな表情とシュールさを兼ね備えた愉快な仲間たちです。LINEスタンプでよく見かける「ごきげんばんだ」や「ラブラビット」が有名です。私は、自己満足と布教の為に「こねずみ」の大きなぬいぐるみキーリングをバッグにぶら下げ、LINEでは意図的ににしむらゆうじスタンプを使っています。その甲斐あってか、近頃剣道部内にしむらゆうじキャラが存在感を放っています。というのも、同期と現幹部に、にしむらゆうじスタンプユーザーが数名観測されたのです。彼らは今となっては、課金してスタンプを手に入れる強者になって成長しました。そして、合宿で貰った色紙にはなんと、全員分にしむらゆうじキャラが描かれていました。すっかり剣道部お馴染みのキャラクターです。これは布教成功といっているのではないのでしょうか。一方、剣道部内にはキャラクター達を「悪魔」と称すアンチも存在しますが、彼らの虜になるのはもはや時間の問題でしょう。にしむらゆうじキャラが剣道部公式キャラクターとなることを、ドイツから切に願っています。因みに、私の一押しキャラは「わるめのねこ」です。

紅茶について

国際日本学部三年 朴 民舒

茶の種類は大きく分けて緑茶、青茶（ウーロン茶）、紅茶、黒茶の四つに分けられる。緑茶は酸化されてない茶葉で作られる。よく知られているものとして「ほうじ茶」がある。逆に紅茶は完全に酸化された茶葉で作られるが、詳しい内容は後述する。ウーロン茶は緑茶と紅茶の間だと考えると良い。一〇%から八〇%まで酸化が進んだ茶葉で作られるからだ。黒茶は緑茶を紙や樽に入れて酵母菌で発酵された茶だ。例えば、「プーアル茶」がある。

紅茶は本来、緑色の茶葉が酵素によって酸化され、赤色に帯びた茶を意味する。茶葉は中国、インド、ミャンマーが原産地だ。消費量が多い国としてはトルコやアイルランドなどがあるが、やはり紅茶と言えばイギリスを欠かせない。

ヨーロッパの紅茶の歴史は十六世紀中国から始まる。ヨーロッパ人が始めて接した茶はウーロン茶であったが、人々の中でどんどん強く発酵された茶が人気を持つようになった。その結果、紅茶という茶がヨーロッパに広がった。イギリスに紅茶が紹介されたきっかけは、ポルトガルの王女キャサリンがイギリス王家に嫁ぐ時に初めて持ってきたことだ。当時、ヨーロッパでコーヒーは男性しか飲めない飲料だった。それに対して、紅茶は入ってきた時

ら女性に注目された。従って、男性はコーヒー、女性に紅茶というイメージができてしまったが、十七世紀になって認識が変わり始めた。植民地を増やして豊かになったイギリスの貴族は財力を自慢しなくなった。彼らが目をつけたのは中国の磁器だった。磁器を自慢するための紅茶とティーパーティーはイギリスの文化となり、現在イギリスを代表する文化として定着した。

それでは、実際に紅茶を飲んでみよう。世界三大紅茶はインドの「ダーズリン」、スリランカの「ウバ(セイロン)」、中国の「キムン」だ。そのままの紅茶を飲むのも良いが、最近は好みに合わせたブレンドティーが多く消費されている。普通の茶に他の茶や香辛料などを混ぜたものをブレンドティーという。皆さんが知っているアールグレイ、ハイビスカス、カモミール、ルイボステイなど有名なブレンドティーだ。紅茶は好みによって飲み方も様々だ。例えば、牛乳、生クリーム、砂糖、蜂蜜、レモン、ブランデー、ジャム等がよく入る。その中で牛乳を入れたミルクティーはイギリスを代表する。

私は昔からコーヒーの苦さが合わなかった。飲んだ後に頭が痛くなる。それに対して、紅茶の苦さは好きだ。紅茶と一緒に飲むスウィーツは無限に食べられる。残念ながら韓国はコーヒーが主流派なので喫茶店が少ない。日本に来て嬉しかったのは、街の隅々に素晴らしい喫茶店が隠れていることだ。静かな喫茶店でゆっくり紅茶とス

ウィーツを楽しむのはまさに最高だ！

留学頑張ってください

D科二年 岡部滉立

お久しぶりです。国際社会学部二年の岡部滉立です。今回の『直心』ですが、入学してから一番お世話になった一つ上の先輩方の実りある留学を祈願して、その六人の凄いところを文字数の関係上、端的に紹介しようと思います。三年生の先輩方、お世話になりました。留学頑張ってください！

・小原大輝先輩

大輝先輩は色々なところへ一緒に防具を担いでいった、一番お世話になった先輩であります。そんな先輩の、私の考える一番すごいところは先輩の強固な流れです。どんなときも自分の流れを崩さず、冷静に物事に対応しています。それが、キャプテンとしての包容力や関東生であつても自分の剣道を崩さずあの飛び込み面が出せる勝負強さの所以となっていると思えます。他にもいろいろありますが、もう百八十五文字なので止めます。

・小林春萌先輩

春萌先輩は普段飛び蹴りや毒舌を私に浴びせてきますが、裏では部の仕事を驚く

ほど丁寧にやってくれていて主務の新堀もとても感謝していました。そして、留学前に教えてくれたのですが、今までどうして自慢せずにいられたのか疑問に思うほど成績も良いです。普段からは想像できない、裏での頑張りが春萌先輩のかっこいいところだと思います。

・田巻瑤子先輩

田巻先輩の凄いところは、ほんわりしているのに芯がめっちゃくちゃ強く、ガッツがあるところです。芯の強さはなんとなく感じます。ガッツは、追い出し稽古の時に、「どんなにきつくてもニコニコしてればなんとかなる」と言っていた時に、確信しました。優しさと強さを兼ね備えた先輩です。

・朴民舒先輩

みんなはみんなの同期と言われていますが、流石に重鎮感が出てきています。みんなのすごいところは、誰とでも話が合うところです。年下でも年上でもみんなと話す時はみんな素で話しています。そのアットホームな雰囲気にも周りは助けられています。

・猿田健太先輩

健太先輩はオンとオフの切り替えが半端なくすごいです。部屋にいる時はいつも定位置で寝ているのですが、稽古中は声出し凄いいし、切り返しも本数増やしてやっています。春学期は二十コマくらい授業をと

ってフル単だったらいいです。オフの時のおっとり感もオンの時のメラメラ感も好きです。

・佐藤立樹先輩

立樹先輩はいつも正しい行いをしてるのが凄いです。しっかり稽古の前は早くて準備をしてくださいます。そして、ダラダラしてしまっただ自分を叱ってくれます。その正しさがカッコいいと思います。あと、真面目に話せない病も好きです。

地球の歩き方

多摩動物公園

国際日本学部二年 長田舞花

ここ二年間で子供のころよりも動物園に行った回数が多いのではないかと思っております。国際日本学部二年の長田舞花です。家から三十分の場所に動物園があるのにあまり行ってこなかったことを後悔し、今足繁く通っています。今年は地元が多摩動物公園（以下多摩動）のおすすめの回り方についてお話しします。手元に園内マップを用意していただけるとわかりやすいかと思えます。

まず家を出る前にスニーカーを履いていくことをおすすめます。多摩動は多摩丘陵に位置し、想像以上の山です。坂道が多いことに加え、敷地面積は五十ヘクタール

を超えるため、一日中歩き回ると万歩計は約二万歩を示します。年中ピーチサンダルの私もスニーカーを選ぶほどです。朝起きるのがつらいからと言って午後から行こうとすると満足に動物を見ることのできないので、余裕をもって十時には着ようにしませう。開園時間は九時半です。入園したらまず右の坂を上ってライオンバスの乗車券を買いに行きます。多摩動公式Xによると連日十二時から十四時の間に完売するようですが、バスに乗車する時間が体感十二時を過ぎるとライオンが寄ってこなくなるので、入園と同時に買いに行くことをおすすめます。今年の五月がライオンバス運行開始六十周年で、ちょうど記念イベント中に行つたのですが、十時半ごろにはフラミンゴが見えるか見えないかの位置まで待機列が伸びていたので、デイズニーの予行練習におすすめます。ライオンバスの乗車券が買えたら時間までアフリカ園を見て回ります。チーターがっこいいです。キリンいっぱいいて可愛い

です。アフリカ園に満足したらオーストラリア園に向かいます。道中にタヌキの展示がありますが、見つけたことはありません。夜行性なので夕方に行くことと見られることもあるそうです。余談ですが、このタヌキが脱走した際、捕まえて数えたら野生のタヌキが混じって一匹増えていたという話も。さすが『平成狸合戦ぽんぽこ』の舞台。さて、オーストラリア園の目玉といえ

ばやはりコアラではないでしょうか。二十時間寝るといわれるコアラですが、動いている奴らも時折目にします。しかし、私がオーストラリア園で最もおすすめる動物はタスマニアデビルです。日本でタスマニアデビルが見られるのはなんと多摩動物公園だけなんです。今年の二月にオーストラリアからやってきてくれました。かわいかわい。

カンガルー広場で昼食を食べたらアジア園に向かいます。多摩動の大部分をアジア園が占めている訳ですが、アフリカ園、オーストラリア園で時間を使いすぎて十分にみられないことがあるので注意しましょう。アジア園はまずアジアの平原に上っていきましよう。ここでおすすめるはターキンです。中国南東部の山地に生息するウシ科の動物です。鼻筋が私の推しの金城碧海に似ています。アジアの平原からは階段を下ってアジアゾウに向かいます。坂道を下るルートもありますが、長いうえに鳥しかいません。数年前にやっと完成したアジアゾウ舎ですが、正直ゾウが遠くて見えにくいです。ゾウ成分はアフリカゾウで摂取しておいてください。水浴びをするインドサイがジュラシックパークを見ているようでかっこよくて好きです。少し進んでマレーバクもおすすめます。

さあこれで多摩動物公園を一周するこ

とができます。行ってみてください。

深情厚誼

Pr 科二年 佐藤青陽

今回は、『直心』を執筆するにあたって、改めて部のみんなや師範、監督への感謝を伝え、そして形に残るものになりたいと考え、この半年間に起こった出来事を書こうと思います。もしかしたら、読んでいて気持ちの良いものではないかもしれませんが、お付き合いしてもらえると嬉しいのです。

ことの初めは、一昨年の十二月下旬のことでした。それまでの約一か月間、謎の体調不良に見舞われ、何度か病院での検査を行ったところ、ガンであるということがわかりました。卵黄嚢腫瘍(らんおうのうしゅよう)、これが私のガンでした。十代、二十代に多いとは言われているものの、ガンでも希少な部類に入るものでした。年末、急いで手術を行い、腫瘍を全て取り除くことに成功し、人生で初めて年末年始を病院で過ごすという体験をしました。手術が終わり、退院もしてやっと動けるようになったころ、同期の五人が私の家にお見舞いに来てくれました。みんなバイトや自分の用事でなかなか予定が合わない中、時間を作って全員で来てくれたことは本当にうれしかったですし、私のお餅を食べたいという要望に、段ボールいっぱい切餅をつめて持ってくるという行動でこたえてくれたみんなには笑わせられました。

ですが残念なことにこれで話は終わら

なく、結局抗がん剤の治療が必要になってしまいました。治療は当初、二、三か月の予定だったため、実家の助けが必要となり、地元北海道で治療をすることになりました。ただ、幸いなことに私のステージはI期と、低いグレードだったため、絶対に治るといふ確信のもと、みんなに頑張っておいでと送り出され、二月から治療が始まりました。私の行った治療はBEP療法というもので、抗がん剤治療のなかでもつらい部類といわれるものでした。知っている方もいるかもしれませんが、メジャーリーグで活躍するダルビッシュ有選手の弟さんも同じ治療をしています。これは、まず五日間、入院をして、朝の十時頃から夜の十二時頃までほぼ一日中点滴をし、その一週間後に次は外来で三十分程度点滴をする、というのを一サイクルとする治療でした。当初、二、三サイクルの予定で始まったこの治療は、なかなか副作用が辛いものとなりました。いつまでも続き薬の効かない吐き気、骨髄抑制のせいでおこる、鉄分を摂っても治らない貧血、白血球の異常な減少、手足のしびれ、甘さを感じず、塩味が苦く感じる味覚障害、脱毛。最初は頑張つてやると意気込んでいましたが、次第に体も心も限界を迎え、早く治療が終わつてくれと毎日願う日々へと変わっていきました。それでも現実はどううまくいかず、なかなか腫瘍マーカーは思うように下がらず、四クール、五クールと増えてしまいました。情けないことに六クール目をやる

かやらないか、選択を強いられたとき、数値的にはやらなくてもいいが、やった方が安心、という状況のなか、耐えきれずやめることを選択してしまいました。それくらい、私自身、疲れ切っていました。

そんな中でも治療をここまで頑張れたのは、部員一人ひとりから定期的に送られてきた応援のビデオメッセージや手紙、毎月開いてくれたビデオ通話、日々のラインでのやり取り、寄せ書き付きの竹刀、一年生の自己紹介手紙、そういった応援と待っているよという気持ちのこもった数々のお見舞いのおかげでした。これらにどれだけ救われたことか。応援して、何より待っていてくれる人がいることがどれだけありがたいことか、身をもって感じることできました。部に入った当初、親や周りからはやめたら、と言われてもいましたが、今は心のそこからこの部活に入つてよかったと思つていますし、この部の暖かさに感謝しかありません。こんな素敵な部のみんなと出会えたことに一昨年以上に感謝していますし、これから、このもらった恩を全力で返していきたいと思えます。

改めてにはなりますが、本当に、本当にありがとうございます。みんなのことが大好きです。これからもどうぞよろしくお願ひします。

近況報告

Pr科二年 田中 温

『直心』をお読みの皆様、こんにちは。二年生の田中温と申します。今夏から幹部交代をしまして会計を務めることとなりました。どうぞよろしくお願いします。

一昨年は四年以上のブランクを経て剣道を再開し、思うようにいかないことも多くありました。しかし二年目に入り、心身の健康を保つことができるようになった結果、徐々に部内戦で好成績を残したり国公立大会の個人戦で初戦突破できるようになったりと成長も感じております。

さて、ここからは私自身そして現役女子の近況と関東女子学生剣道優勝大会について報告いたします。今年には経験者一人、そしてなんと初心者三人もの女子が入部してくれました。日々の稽古だけでなく自練にまでも励み、メキメキと腕を上げていく彼女らの様子にとっても刺激を受けています。そして同期の復帰という大変喜ばしい出来事もありました。

九月に行われた関東女子学生剣道優勝大会ではかなり久しぶりに団体戦で一回戦突破することもできました。一回戦目の都立大は一人欠場であったものの全員三段保持者であり、我々は経験者二人と残り初心者という状況だったため、チームでいかに戦うかが鍵でした。先鋒二本負け、次鋒不戦勝、そして私の出番となり、いつも

よりは緊張は少なかったものの「ここでしっかり取るぞ!」という強い気持ちで臨みました。結果として二本勝ちし、副将は残念ながらでしたが、なんとか大将の長田が一本取得し引き分けに持ち込み、代表戦まで繋ぐことができました。代表戦は「ここで絶対に一本取ってくるぞ」という気持ちで臨みました。試合が始まり、攻めかけた途端相手が下がったので「行ける」と思い面に出たら旗が上がりました。

トーナメント表を見て「都立に勝ったら法政と戦えちゃうね〜」など少し和気藹々としていたのですが、本当に法政と戦えることになってしまい嬉しさと驚きでいっぱいでした。二試合目があることがとても嬉しくて、しかもそれが前年度優勝校の法政大学だったのでとてもわくわくしました。「どうせ勝てるわけではないなら思い切つてやってみよう」とみんなで意思を固め試合に臨みました。みんなの思い切りがよかったのか初戦よりも攻めた良い試合ができたと思います。そして個人的にとっても嬉しかったのは、法政大学の中堅に初太刀で面を取れた事です。そのあとはさすがに取り返されて負けてしまいました。取られた面のなんとも綺麗だったこと！パワーに頼るのではなく技術で、しかも打たれた感じも分からないままフワッと綺麗に取られて、悔しいというよりもすごく感動しました。初心者かつ公式の団体戦初出場のメンバーが多かった中、チーム全体がまとまって、取れるところで取る試合が

できてよかったです。

以上、現役女子としての報告と関東大会についてつらつらと書きましたが、このようにみんなで活動できているのも師範・監督・野平先生をはじめOB・OGの皆様の指導そしてご支援あってだと常々実感しています。まだまだ至らない点もございますが、更なる良いご報告ができるよう頑張りますので、今後ともぜひご指導のほどよろしくお願いいたします。

キモキモオブザイヤー

大賞作品

S科二年 多並怜史

久方ぶりの再会でございますね。皆様いかがお過ごしでしょうか。今年是一回目に書いた原稿の仕上がり芳しくなかったので、同期に提示して貰ったお題についてつらつらと書こうと思います。なんと「理想のデート」がお題だそうです。結構考えさせられましたね。まず、理想のデートとは何ぞや、と思索するところから始めた訳ですが、これは自分の価値観やある種の性癖が捲れてしまうのが少々難点でございます。しかしながらお題を受けた以上はノリノリで、キモカろうと全力で書きましよう。宜しいですかね、僕の原稿は鼻で笑いながら読むのが正解です。伝統ある『直心』を真面目に読みたい方はこの場で回れ右

するのよ。内なるド変態を解き放つ場です
から。

さて、さつそく本題に入りましょう。今
回の僕のデート相手は彼女だと仮定して
話を進めます。いい感じの人ではなくてね。
ここでは僕が大好きでどうしようもない
彼女とのデートに対するソリユーション
を検討しましょう。初めに、半日デートの
場合です。昼過ぎから集合して、洒落たカ
フェで珈琲を飲んで他愛もない会話を楽
しみます。僕は歌舞伎を見るのが好きなの
で、歌舞伎座の座席を予約して、夕方から
夜にかけての公演と一緒に鑑賞します。そ
れが終われば、東銀座の鮎屋「寿司周」
で美味しい寿司に舌鼓を打つ（寿司周は僕
のおすすめです）。マスターズドリームな
んかを一緒に引っかけ、次のデートはど
うしようなんて話してみましようか。一通
り食べ終わったら、駅まで彼女を見送って
解散。必ず終電前には帰宅できるように時
間の配分をします。大切で大好きな彼女で
す。一生一途に大事にしたいので、早めに
帰ってもらいます。ホントはバーとかに連
れていきたいけど、あとはパブでサクッ
と飲んで解散でも楽しいですね、きつと。
次に、一日デートの場合です。すみだ水
族館の開館に合わせて集合します（休日は
混みやすいので開館直後が良いですよ）。
おさかなさん可愛いね、みたいな相手が恋
人でなければ真平御免な話をしながら
水族館を回ります。それが終わったら昼食
にしましょう。特に彼女の希望が無ければ、

浅草にある老舗お好み焼き屋「染太郎」に
向かいます。どこか今の時代とは一線を画
すような雰囲気のある店で、恐らく喜んで
もらえる事でしょう。二人で齷齪しながら
作るお好み焼きはさぞ美味しかろう。この
日ばかりは食事でなくて彼女の写真を撮
ろうと思います。それが終われば、浅草寺
に向けてお散歩の開始です。参拝を済ませ
たら、参道にある浅草メロンパンをおやつ
に頂きます。美味しいメロンパンを頬張る
可愛い彼女を見ながら僕もメロンパンを
食べましょう。美味しかったね、何て言い
ながら上野に移動です。国立西洋美術館で
東京の喧騒から離れて、日が沈むのを待つ
ことにします。いい時間になったら、上野
—有楽町間にあるガード下の飲み屋に入
ります。一日酷使した足を休めつつ、空き
っ腹にご飯を入れていきます。翌日のこと
も考えて、早めに解散します。本当はここ
まできっちり決めたくないです。ただ求め
られているのはきつとこういう内容のは
ず。ね、最高にキモくて面白かったでしょ。

次に早急かつ建設的に検討すべきイン
シデントとして、僕にはどうしてこのソリ
ユーションを提供するクライアント、此れ
即ち彼女がいなかったかということが存在
しているのです。よく言われるんですよ、
「なんでそんなに何も無いんだろうね」と。
もう聞き飽きました。お黙りなさい、そん
なもんこつちが知りたいわ。ただ好きでも
ない（人として）人に資本や時間といった
自分のソースを割くつもりは毛頭無いの

で、暫くの間無理なことは百も承知でござ
います。素の自分でいられる方が見つかる
までは、存分に独身とクソガキを楽しむ所
存です。ウイスキー、ワイン、節度をもつ
て引っかけています。アルバイトの塾講師
働いて、美味しいもの食べて、したいことを
する。これも凄く楽しいですよ。フラメ
ンコを聴きながら家呑するのも、バーに行
くのと同じくらい楽しいのです。そうは言
っても、どう足掻いても隠し切れない寂し
さは尽きぬものでして。それでも身軽な今
は今で最高なのです。だから焦る必要もな
い。素敵な出会いがあるまでは、自己研鑽
のフェーズです。彼女が出来たら、その人
の人生を仮にも預かる訳ですから大切に
します。きつと彼女がいたらもつと楽しい
だろうし、もつと頑張れるんでしょうね。
はあーあ。なんだこれ。ウイスキーウイ
スキー。フラメンコを流してつと。完璧。
それじゃ。

テレビアニメ

『がいだいけんどーぶ！』

Ar科二年 新堀恭平

※アニメの予告のテンションで読んで
ください。

私、新堀恭平！ どこにでもいる外大の

美青年！一年間、サークル活動に部活動頑張ったの！だけども、そのせいでアラビア語がおろそかになっちゃった！？アラビア語の先生から、まさかの宣告！？そもそも私、大学に何しに来たの？？次回、がいだいけんどうぶ！第二話「進級、できるかな？」おたのしみに！！

私、新堀恭平！まさか先生から留年宣告を食らうなんてね☆ 学業をおろそかにしちゃいけないよ！！今年こそは頑張んなきゃ！！文武両道の逆を行く、そんな落ちこぼれの私に、差し出された魔の手。手足を縛られちゃった！？ いったいあなた誰なの！？ 次回、がいだいけんどうぶ！ 第三話「剣道宇宙人オカベコウタの襲来」

私、新堀恭平！キャパシティの魔物に襲われて、手足を縛られて動けなくなった私のもとに来たのは、剣道の惑星「クガヤマ」から来た、剣道星人のオカベコウタ！彼は私を縛っていたロープを日本刀で一刀両断！「剣道するか、剣道するか」とかいうイカレた選択肢を提示してきたよ☆ 私、剣道がんばる！！ 次回、がいだいけんどうぶ！ 第四話「タナーミィサットーシ」おたのしみに！！

私、新堀恭平！今日はオカベコウタに廃工場に連れていかれたの！何が起るんだらうとおびえていたら、建物の陰

から闇落ちしたドクター、タナーミィサットーシに腕時計型麻酔銃で撃たれたの！目が覚めたら、竹刀を二本使うからだになっちゃった！私、これから正二刀でがんばる！！ 次回、がいだいけんどうぶ！ 第五話「直心」

時は来た。世界が私を呼んでいる、この船で私はシムムとして生きる。さあ、戦いの火蓋は切って落とされた。持った竹刀は日本刀。いざ行かん。次回、がいだいけんどうぶ！ 第六話「生きるということ」



自己紹介

国際日本学部一年 李 潔承

私は国際日本学部の一年、韓国出身の李潔承（イチャンスン）と申します。東京外国語大学で日本語を専攻しています。

私が剣道を始めたきっかけは主に二つあります。一つ目は、日本の伝統的な武道である剣道を学びたかったからです。剣道ではただ相手に勝つことが目的であるだけでなく、礼儀、礼節を重んじ、相手に対しての尊敬の念を持つことが求められます。このような特性は日本の武道である剣道独自のものだと思います。剣道を通して心身のみならず、精神的な面でも鍛えていきたいと思ったのです。

二つ目は、剣道部での活動を通して、得られるものが多くあると感じたからです。部活では部員同士がコミュニケーションをとって協力することが必要です。特にこの部活には留学生が多く在籍しています。このような中で、自分の協調性を養い、育んでいきたいです。また様々な大会や昇段審査があると思います。このような経験を通して、自分なりに目標を設定しながら成長していくことで、日本での生活をより意義あるものにしていきたいと思いました。自分は未熟な部分が多いと思いますが、日々剣道を精進していくので、これからもよろしく願っています。

自己紹介

E科一年 片山昂英

東京外国語大学剣道部の先輩方、初めまして。四月に剣道部に入部した言語文化学部英語専攻一年の片山昂英（たかひで）と申します。この度『直心』にて自己紹介をする機会をいただきましたので、これまでの剣道人生、外大に進学した理由など少しだけ自己紹介をさせていただきます。

生まれは母の出身地である京都府、それから幼稚園を卒園するまでの五年間は福岡県春日市に住んでおりました。そして二〇一二年、幼稚園卒園と同時に父の転勤についていく形でアメリカに移住しました。私が剣道を本格的に始めたのもちょうどその時期でした。私の父は幼い頃に剣道を始め、剣道をするために大学に進学するほどの剣道人で、三つ離れた兄もその影響で剣道に明け暮れる生活を送っていました。二人の後を追う形で私も剣道を始めました。

移住後、私と兄は平日にアメリカ人と一緒に現地の学校に通い、土曜日には日本語補習校に通うという生活を送っていて、剣道とは無関係の日々を過ごしていたのですが、父が補習校に剣道部を作り、練習ができる環境をそろえてくれました。そうやって創立された「コロナバス剣道クラブ」で五十名ほどの仲間と共に八年ほど剣道に励み、その間全米大会をはじめとした

様々な大会にも参加しました。

そうやって順調に進んでいた私の剣道人生でしたが、二〇一九年に勃発した新型コロナウイルスの影響で練習も大会もできなくなり、しばらくはリモートで集まり素振りをする日々が続きました。やっと規制が緩和し始めた二〇二一年、父のメキシコへの転勤が決まり、日本の大学への進学を望んでいた私は母と一緒に日本に帰国しました。そして、七月に帰国子女編入という形で東京都立三田高等学校に編入しました。高校では剣道部に所属していましたが、部員は少なく、指導者はおらず、経験者も私しかいなかったため、高校三年間は指導する側として時々防具をつけて練習をしていました。道場に通うという選択肢もあつたのですが、コロナの蔓延がまだ続いていたこと、これまで日本の教育をきちんと受けていなかったことで他の生徒との学力の差が大きかったこともあり、勉学に励むことにしました。

そんな私が外大を目指し始めたのは高校三年生の時でした。二年生までは理系のコースで高校の授業を履修しており、兄の影響もあつて、なんとなくという理由で医学部を目指していました。しかし二年生の秋、自分のやりたいことについてきちんと考えるようになり、「英語をより幅広く使えるようになりたい、マスターしたい」という理由で外大に志望先を変え、文系に転向しました。

また、入部までの経緯としては、不

思議なことに私の知らない間に父の剣道繋がりですべてに剣道部現四年生の箕輪先輩に私の話が伝わっており、半強制的に入部に至りました。このように思わぬ形で入部とはなりませんが、日々の練習を通して師範や監督、先輩方の優しさや剣道への熱意を感じ、今では外大に入学し、剣道部に入部できたことに感謝しています。これからも師範や監督、先輩方をはじめとする同期などの仲間感謝をし、一生懸命、文武両道で稽古に励んでいく所存です。長くなりましたが、これにて私の自己紹介とさせていただきます。先輩方、これからよろしくお願い致します。

自己紹介

C科一年 狩野見飛雅

皆さま初めまして。国際社会学部中国語科一年の狩野見飛雅と申します。「飛ぶ」に「雅」と書きまして「ひゅうが」と読みます。少し難しい名前ではありますが覚えていただければ幸いです。

さて私は新入生ですので、僭越ながら自己紹介をさせていただこうと思います。私は静岡県東部の中部の境である富士市の出身で、本籍は伊豆市にあります。剣道は父と上の兄弟二人の影響で小学校一年生、齢にして六歳のころ始めました。始めるよう強制されたというよりは年の離れ

た兄二人への憧れからだとも私も記憶しておりません。しかし、長男とは九つ、次男とは六つ離れていたこともあり、中々同じ土俵に立って稽古をつけてもらうというとはありませんでしたが、父には始めた時から今に至るまで稽古をつけてもらっており、いくなれば私の師匠ともいえるでしょう。中学、高校と進学しても剣道部に入り部し剣道を続けましたが、高校では部活のメンバーと折り合いが付かず人間関係が上手くいかずに途中で部活を休部しており、高校生という身体的、精神的にも稽古に打ち込めたであろう時期にそれを実現できなかったのがとても無念でありました。大学ではぜひ仲間と切磋琢磨し高校の分も剣道を楽しもうという所存です。OB・OGの皆様の手厚いご支援と頼れる先輩方、仲間を持てたことに感謝し、この拙文を私めの『直心』として寄稿させていただきます。

自己紹介

K科一年 川島愛留

初めまして、国際社会学部東アジア専攻朝鮮語科一年の川島愛留（かわしまえる）です。今回、『直心』に初めて寄稿する機会を頂けるといふことなので、私の自己紹介をさせていただきますと思います。

二〇〇六年に埼玉県さいたま市に生ま

れ、三歳の頃に富士見市（埼玉県）に引っ越しをし、高校に入学するタイミングで新座市（埼玉県）に越してきました。親戚中を探しても埼玉出身など見当たらない我が家系ですが、謎に埼玉愛の強い両親のもとで、県内で二度の引越を経験しました。四歳からピアノを習い始め、小学校では、手芸・調理クラブ、中学校では美術部に入部し、受験ガチ勢の母の影響で塾に通って勉強に勤しむなどして、武道とは縁もゆかりもないような生活をしていました。しかし、いつ頃からでしょうか、どうしてか剣道に興味を持つようになりました。思い返してみれば、剣道部に入るために市内の別の中学校に行った友人がきっかけだったようにも思います。ですから私が進学した地元の中学校には剣道部がなく、そもそも忙しい部活に入ることを止められていたので、私は放課後に絵を描く優雅な中学生となったわけです。穏やかで楽しかったです。

紆余曲折ののち、どうにか高校に入学した私は、今度は忙しくても良いだろうと、一人剣道部に赴いたのですが、小心者の私は道場に入って剣道部員の気合を聞いた瞬間に、アツ無理かも……と尻込み、結局陸上部に入部しました。足の速い人間になりたかったからです。しかし、高校受験からの解放感から部活と遊びに力を入れてしまった結果、成績が急降下し、見事親の怒りを買って、大好きだった部活を辞めることになりました。二年の春でした。そこ

からは某河合塾にお世話になり、はたまた紆余曲折ののちに、どうにか外大に入学した私は、二〇二四年四月、宇宙規模の大きさの希望を胸にタフモニュ横を通り、ついに本当の自由を手に入れたというわけです。

入学当初の私は、剣道部に入るなど夢にも思っていませんでしたが、ただ、憧れだけは胸に抱き続けていました。さすがに大学から剣道部は無理があるよなあというような気持ちだったので、ガレリアの剣道部ブースを横目を通り過ぎながら、陸上部写真部、外実、軽音系サークルなど実に多種多様な団体に説明を聞きに行きました。朝鮮語科ですがダンスができないので *quattro* には行けませんでした。さあもう帰ろうかと講義棟を後にしようとしたそのとき、袴を着た私と同じ名前の留学生がパンフレットを配っているのを目にしました。なぜでしょう、私はパンフレットを受け取っており、い、一応説明だけ聞いておくか……などと言って剣道部ブースに引き寄せられていました。そして、結局外大剣道部に魅せられた私は週四活動の文字に怯えながらも、四月二十二日、入部届を提出してしまっただけです。そして半年経った今、私は入部を決めたあの時の自分を誇りにしか思っていないません。

優しすぎる師範や監督、先輩方、同期のみんなに恵まれ、ずつとやりたかった剣道をこのような最高の環境で始めることができ、本当に嬉しい毎日です。早く、も

っと良い、もっと強い剣道ができるように、銀河レベルの大きな剣道愛を持って日々精進して参ります。これからも、どうぞよろしくお願い致します。

自分の紹介

国際日本学部一年 カン・ダオム

国際日本学部一年のカン・ダオムと申します。この度、『直心』に初めて寄稿する機会をいただき、誠にありがとうございます。私は韓国の釜山で生まれ、ソウルやチェジュ島などにも住んできました。これまでに何度も引越しの経験しています。中学生の頃、アニメ『進撃の巨人』に夢中になり、漫画家を志すようになりました。そのため、美術塾に通い、美大の準備を進めていました。

その頃、数学の家庭教師の先生がいて、その先生のお父様が剣道の道場を運営していました。『進撃の巨人』の刀を使って戦うシーンに魅了され、剣道に興味を持ち始め、先生のお父様の勧めもあり、剣道を始めました。その道場での剣道はとても楽しく、師範も優しくしたため、道場が休みの日には師範から教えてもらった鍵の場所を使って、父と一緒に道場で遊んでいました。道場で行われたスキーキャンプも楽しい思い出でした。

しかし、中学三年生のときに釜山に引

越し、新しい道場に通うことになりましたが、その道場の雰囲気が自分には合わず、真剣に剣道が続けることができなくなりました。ふざけて『鬼滅の刃』の真似をして遊んだりしていたのです。そして、ちょうどその頃、新型コロナウィルスの流行が始まり、剣道ができなくなりました。さらに、大学受験の準備も本格化してきたため、剣道を辞めることになりました。

結局、韓国で志望していた大学に合格できなかつたため、新しい挑戦をしたいと考え、日本留学を決意しました。一年間の準備期間を経て留学の準備をしましたが、韓国での受験勉強で燃え尽きてしまい、何か新しいスポーツを始めたいと思いました。その時もコロナ禍で剣道ができなかつたため、小学生の頃に一年間やっていたゴルフを再開し、練習場に通って練習するようになりました。

そして、東京外国語大学に合格後、どのサークルや部活に入るか調べた結果、剣道部が最も魅力的だと感じました。日本文化に触れることができる上、多くの留学生やOB・OGとの交流も活発な点に惹かれました。そして、今では入部を決断した自分を誇りに思っています。優しい師範や監督先輩方、そして同期の皆さんに支えられ、最高の環境で再び剣道に取り組めることを心から嬉しく感じています。

これからも、さらに質の高い剣道、より強い剣道を目指し、日々努力を重ねていきます。剣道への情熱を胸に、今後も全力で

頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

自己紹介

国際日本学部一年

ズンビュール・ニーナ

国際日本学部の一年生のズンビュール・ニーナです。二〇〇四年に生まれ、スイスのアルプナツハという小さな町で育ちました。ピアノや歌のレッスンを受け、空手、体操、フロアボールなどさまざまなスポーツをやりました。十五歳ぐらいの頃、日本に興味を持ち、初めて日本について調べてみました。受験の頃に日本に留学したいと思いい、東京外国語大学に申しました。出願した大学は外大だけだったので、合格できて嬉しく安心しました。二〇二四年三月に日本に来て、これからの四年間学生として日本で暮らす予定です。

大学に入學した時、フロアボールを続けたいので、剣道をするつもりではありませんでした。それまで剣道のことを聞いたことがなく、友達が剣道を試してみたいと言った時に初めて知りました。剣道のブースに行くと、剣道について少し説明を受けましたが、やりたいかどうかは分かりませんでした。最初の稽古に参加してみたい理由は、友達三人が参加すると言ったので試してみたいからです。その最初の練習

で、まだ剣道が好きかどうかは分からなかったです。入部前の試し期間に参加した理由は、チームの皆が優しかったことと、新しいことを試してみたからです。

六か月経った今、剣道が本当に好きで、良い決断をしたと思っています。とても楽しいですし、皆さんが応援してくれて親切です。これからも剣道を続け、皆さんと一緒に頑張ります。

自己紹介

C科一年 高屋真萌

こんにちは、宮城県仙台市出身、中国語科一年の高屋真萌です。自己紹介を兼ねてこれまでの剣道歴について書こうと思います。

剣道は中学一年生から始めました。それまで八年間ほど新体操を習っていた私はそのまま新体操部に入ると思っていた矢先、新体操部の先輩の演技を見て入部を拒絶。その後方にいた剣道部に興味を持ってしまいました。軽く体験させてもらっていたところ、顧問の先生に入部を決めた新入部員と間違われ、そのまま入部してしまいました。普段は優しい顧問の先生は稽古が始まると性格が一変し、今思い返すだけでも地獄的と思えるほどきつい稽古を週六回こなしていました。半強制的に道場にも週二回通わされ、駅伝部も兼部させられ、

周りが穏やかに青春学園生活を送っているなかで体力と根気だけがめきめきと伸びていったように思います。

中学生生活を剣道に支配された私は一生面をつけないと決心していたにも関わらず、心なしか剣道をしたくなってしまい、いつの間にか剣道部に見学に来ていました。やはり入部する気はありませんでしたが、先輩に「入部届持ってきた？」と笑顔で聞かれ、「明日持ってきます」と言っていました。その六月には引退してしまい、入部二か月後、部長、つまり部員一人になりました。そのような環境でも剣道書を片手に日本剣道形を習得し高校一年で三段を取得することもできました。相手がいないと成立しない剣道でも自主練習ができるということを得得した期間でもあります。

そして来る大学一年の春、既に週七日のバイトをしていた私に、週に四日も稽古をする剣道部が勧誘してきました。入部を渋り続けること三週間、悩みに悩んだ末に剣道部の一員となることを決めました。今となっては良い選択だったと思っています。しかも、部活、サークル、バイト、ボランティア、習い事など様々なことを両立することもできています。海外旅行が好きで、今年の夏はフィリピンとベトナムに行くこともできました。濃厚な一人暮らしを満喫しています。ただ、睡眠と食事について周りの方に心配されがちな毎日を過ごしてしまいました。反省・改善しようとして

うやく意識し始めたところです。

行動力が強みなもので、これからも多方面に興味を持って行動に移していこうと思っています。剣道部に再び入ったからにはできる限り粘り強く頑張りますのでよろしく願います！

自己紹介

H科一年 名和瞭成

初めまして。国際社会学部一年ヒンディ語科の名和瞭成(なわりようせい)と申します。この度は『直心』に初寄稿させていただきました。この場を借りて自己紹介をさせていただきます。

名字が珍しいとよく言われますが、実は高校の剣道部に同じ名字の後輩がいてよく弟と間違えられていたということがあるので、少なくとも八王子には名和が八人ほど存在しております。育ちは、今申しましたように東京の端っこの八王子ですが、生まれたのは府中らしいので、大学でまた生まれた場所に戻ってきたことになりました。

剣道は小学校一年生の頃に始めて、途中で親に「やめて好きなことをやっさいよ」と言われながらも中・高と剣道部に所属し、さすがにやめようかと思っていた大学でもいつの間にか剣道部に入っていました。ここまで来たら、おじいちゃんに

なっても何だかんだ続けているのではというような気がしています。しかし、始めた当初は剣道が嫌でしかたがなく、親に半ば強制的に道場に連れていかれ、いつも泣いてばかりでした。それでも剣道の才はほんの少しですがあったようで、周りからは期待の目で見られていました。しかし、試合になるといつも一回戦負けで、初試合では遅れてきたおじいちゃん先生たちが「名和君の試合楽しみだな。そろそろ決勝かな」と盛り上がっていた際、父が「すみません。一回戦で負けました」と申し訳なきように答えていたのが思い出深いです。どうやら本番に弱いタイプのように、剣道の試合前にはいつも気分が悪くなったり、習っていたピアノの発表会では見開き一ページを丸々飛ばしてしまったりと、これまでの人生は緊張との戦いの日々でした。様々な解決法を調べている中で、最終的には本番前に無理やり笑顔を作るという方法に行きついたので、試合前は面の中で変な顔をしていることがあります。それでもまだまだ克服には至っていないので、試合前など緊張をほぐしてくださいと嬉しいのです。

話は変わりますが、外大ではヒンディー語を専攻しております。「なんで？」とよく聞かれますが理由は単純明快で、インドカレーがとにかく好きだからです。そんな理由で入ってしまったからか専攻語の授業はなかなかきつく、これからの四年間が少し心配ではありますが、剣道と同じくらいの間にか時がすぎてヒンディー語をペ

ラペラに話せるようになっていてることを願います。趣味は飼っている文鳥と遊ぶこと、そしてサイクリングで、大学ではサイクリング部にも所属しています。活動日が主に土曜日なので、これから土曜日は来られない日が出てきてしまうかと思いますが、他の曜日でもまかなえるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。また、好きな映画は『君の名は』、好きな芸人はジャルジャル・ティモンディ高岸・オードリー春日・なかやまきんに君・ジェラードンなど、どこか変わっていて男性ホルモンが強そうな人が好きみたいです。ちなみに父がお坊さんだという関係で、今は実家からではなく、外大近くにある寺の別院（見た目は普通の家です）から大学に通っています。これから、部活と勉強をしっかりと両立できるように頑張っていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

自己紹介

C科一年 猿子晴大

新潟生まれ新潟育ち、ネイティブ新潟人の猿子晴大（ましこはると）です。名字も新潟の地域のもので、初めて会った時、誰一人として私の名前を正しく読んでくれる人がいません……仕方ないですね。

剣道歴は七年です。中学生の時、当時の

先輩方に腕を引かれ、武道場に連れて行かれたのがきっかけでした。そこから始まった剣道人生ですが、自分の性に合っていたのか、高校も剣道が続けることにしました。高校では参段を取る前に部活を引退したので、まだ式段のままです。高校卒業後、別の大学に入学したのですが、すぐ見切りをつけて中退し、一年浪人して外大に入学しました。浪人期はたまに体を動かすために剣道をするくらいだったのですが、一年としてカウントさせてください。

中学三年間、高校三年間、浪人期一年間の合計七年の剣道歴を語らせていただきました。大学でも剣道をするのだから、どうせなら四段まで取りたいですね。その前に参段を取らねばならないのですが……今年中には取るつもりです。忘れていたら誰か教えて下さいな。

色々話しましたが、ここから少しでも私の人間像が伝わるといいなあ、と思います。どうぞよろしくお願いします。

自己紹介

S科一年 盛崎利光

剣道歴は十一年で、小学三年生の時に剣道を始め、中学高校ともに剣道部に在籍していました。大学で剣道をやるつもりはなく、大学生らしいキラキラしたサークルに所属する心算でしたが興味本位で道場に

見学に行った際、気が付いたら三尺九寸の竹刀を握っていました。

初対面の人でも積極的にコミュニケーションを取るのが長所で、同期から抱きしめられた際に「居ない」と形容されるほど筋肉のない体をしているのが短所です。部活以外ではひとりカラオケに行ったりクレーンゲームに興じたりしています。みんなでワイワイするのも一人で何かするのも両方好きです。外大剣道部の一員として府中市民大会や関東学生でいい成績を収められるように頑張ります。

自己紹介

国際日本学部一年 渡辺ケブ

アメリカ合衆国出身の国際日本学部一年生の日系アメリカ人の渡辺ケブと申します。ワシントン州のシアトルで生まれ育ちました。日本には住んだ事がなかったのにも関わらず、子供の頃からずっと東京出身の母と日本人の親戚のお陰で日本に興味があり、日本人である意識を持っていました。小学校の始まりくらいまで、母が日本語で話してくれましたが、段々と日本語を忘れてしまいました。よく家族揃って親戚を訪ねるために日本に行きましたが、この時に悲しい事に気づきました。自分の祖母やいとこも会話することが出来なかったのです。この経験で日本語を習得する

事を目標にしました。そして、日本の歴史に興味があったので、東京外国語大学の国際日本学部を目指すのは、自然な選択でした。

入学してから初めて剣道をしました。何故剣道を始めようとしたかと言うと、子供の頃からずっと武道に興味があり、小学校で合気道をしていました。中高ではレスリング部、クロスカントリース部、陸上部に入っていて、色々な良い経験が出来ました。沢山のことを学びましたが、中でも一番役に立つ事は、辛い時でも諦めずに最後までやる事でした。剣道部に入ってまだ六か月しか経っていませんが、もう沢山大切な事を学びました。剣道の経験が全く無い自分を歓迎してくれて、その上暖かく応援してくれる先輩方にとっても感謝します。これからも剣道を一生懸命頑張りたいと思いますので宜しくお願いいたします。



試合戦績

第七十回関東学生剣道選手権大会

令和六年五月十二日
於 日本武道館

【男子】

岡部 二回戦敗退

一回戦 延コ、書間（北里大）

二回戦 延メ 野本（日本文化大）

佐藤 一回戦敗退

一回戦 延メ 久我（関東学院大）

小原 一回戦敗退

一回戦 延メ 森田（都留文科大）

【女子】

小林 一回戦敗退

一回戦 延メ 河野（日体大）

田巻 一回戦敗退

一回戦 延メ 向山（日大）

第三十回東京都学生剣道選手権大会・

東京都女子学生剣道選手権大会

令和六年五月二十六日

於 日本大学総合体育館アリーナ

【男子】

小原 一回戦敗退

一回戦 ・コメ 駒井（東京農業大）

猿田 一回戦敗退

一回戦 ・メメ 門田（拓殖大）

多並 三回戦敗退

※一回戦シード

二回戦 コド・ド 宮崎（都立大）

三回戦 メ・メ 中山（早大）

延メ

【女子】

田巻 一回戦敗退

一回戦 ・メ 高木（立正大）

小林 一回戦敗退

一回戦 ・コメ 小野（成蹊大）

令和六年度春季府中市民大会

令和六年五月二十六日

於 府中市総合体育館

※入賞者のみ記載

【男子初段以下の部】

三位 ペラエズ

【男子三段の部】

優勝 佐藤

準優勝 岡部

三位 名和

第七十二回東京地区国立大学剣道大会

令和六年六月十六日

於 東京学芸大学

【男子個人】

岡部 二回戦敗退

一回戦 メ・ 齋藤（学芸大）

二回戦 ・メメ 高橋（海洋大）

佐藤 三回戦敗退

一回戦 メメ・ド 細野（医歯大）

二回戦 メメ・ 黒木（電気通信大）

三回戦 ・メ 篠原（東大）

小原 優勝

一回戦 メメ・ 湧上（都立大）

二回戦 延コ・ 園田（東大）

三回戦 メメ・ 宮田（学芸大）

準決勝 メ・ 植田（農工大）

決勝 メメ・ 高橋（海洋大）

【女子個人】

長田 一回戦敗退

一回戦 ・メメ 杉原（一橋大）

小林 一回戦敗退

一回戦 メ・メコ 岡崎（学芸大）

田中 二回戦敗退

一回戦 メメ・ 東城（一橋大）

二回戦 ・メ 新開（東大）

高屋 三回戦敗退

一回戦 メメ・コ 伊藤（一橋大）

二回戦 メメ・メ 呉（海洋大）

三回戦 ・メメ 毛塚（学芸大）

【男子団体】

一回戦

東外大（1） 都立大（3）

片山 ・ド 安海

猿田 ・メ 市川

蓑輪 ・ 湧上

中野 ・ 小林

岡部 ・メ 青木

佐藤 ・ 石橋

小原 ・メド 重松

田巻 二回戦敗退

一回戦 ・メコ 山本 (東大)

第二十二回明鏡杯争奪剣道大会

令和六年九月一日

於 玉川学園大学

※台風接近に伴い、今年度は中止。

第七十三回関東学生剣道優勝大会

令和六年九月八日

於 日本武道館

一回戦

東外大 (0) 尚美学園大 (6)

猿子 ・メ ・メメ 摂津

新堀 ・メコ 菊池

片山 ・メコ 常住

名和 ・メド 岩館

狩野見 ・メメ 藤田

蓑輪 ・メ 牧野

岡部 ・メド 阿部

第五十回関東女子学生剣道優勝大会

令和六年九月二十一日

於 墨田区総合体育館

二回戦 ※一回戦シード

東外大 (2) 都立大 (2)

姜 ・メメ 水村

川島 不戦勝

田中メメ ・河野

佐藤 ・メド 小杉

長田 ・メ ・メ 井上

田中 ・メ ・ 井上 ※代表戦

三回戦

東外大 (0) 法政大 (5)

姜 ・メメ 松下

川島 ・メコ 内藤

田中 ・メ ・メメ 稲田

佐藤 ・メコ 寺坂

長田 ・メコ 水川

敗者復活戦

東外大 (0) 成蹊大 (3)

川島 ・メコ 小野

ズンビュール ・メコ 永島

田中 ・メメ 阿萬

佐藤 実施せず 丹野

長田 実施せず 松坂

第六十五回府中市民体育大会秋季大会

令和六年十月二十七日

於 府中市日吉体育館

※入賞のみ記載

【男子団体】

三位 東外大A

第七十回関東学生剣道新人戦大会

令和六年十一月二十四日

於 東京武道館

一回戦

東外大 (0) 埼玉大 (6)

盛崎 ・メメ 山崎

猿子 ・メ 酒井

狩野見 ・メコ 福田

多並 ・メド 木島

名和 ・ 山崎

片山 ・メメ 林田

岡部 ・メ ・ドメ 高橋

第二十五回関東女子学生剣道新人戦大会

令和六年十一月十七日
於 東京武道館

一回戦

東外大(1) 清和(3)

川島 .メメ 吉川

ズンビュール 不戦勝

高屋 . 土井

佐藤 .メメ 古川

長田 .メメ 平山

第十八回全日本学生剣道オープン大会

令和六年十二月十四日・十五日
於 仙台カメイアリーナ

【男子三段の部】

予選リーグ敗退

東外大(1) 早大C(2)

名和 .メ 小久保

不戦敗 西川

岡部 .メ 古賀

東外大(0) 東大A(1)

名和 . 辻村

不戦敗 中井

岡部 . 小林

【男子二段以下の部】

盛崎 予選リーグ敗退

. 高田(横国大)

. 小野(秋田大)

. 延コ 高田(横国大)

狩野見 予選リーグ敗退

.メ 畑田(秋田大)

. 島田(和歌山大)

猿子 予選リーグ敗退

. 蘇(香港)

. 加藤(富山大)

片山 予選リーグ敗退

.メ 岩見(横国大)

. 串間(カナダ)

渡辺 予選リーグ敗退

.メメ 高橋(高経大)

. 吉田(東福大)

朴 予選リーグ敗退

.メメ 山内(関福大)

. コメ 日比野(東大)

【女子三段の部】

予選リーグ敗退

東外大(0) 大教大(3)

高屋 .メメ 本多

長田 .メメ 福田

スバルカス .メメ 根本

東外大(0) 札医大・北大・創価大(2)

高屋 .メ 飯田

長田 .メメ 福西

スバルカス . 桑原

【女子二段以下の部】

佐藤 予選リーグ敗退

.メメ リーズリー(カナダ)

.メメ 若尾(立教大)

川島 予選リーグ敗退

. コメ 武智(聖力大)

. コメ 林(東北大)

ズンビュール 予選リーグ敗退

. 松下(桐蔭大)

不戦勝 庄(香港)

.メ 松下(桐蔭大)



編集後記

今年度の『直心』の編集担当を拝命いたしました多並でございます。まず初めに、お忙しい中原稿をお寄せくださいました野口師範、山田剣友会会長、坂詰監督、そして剣友会会員の先輩方にご場をお借りしまして厚く感謝申し上げます。続きまして、編集作業に際しまして御力添えを賜りました宮岡先輩、池田事務局長にもこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。原稿の割振り、校正に関して直ぐにご指導を仰ぐことが出来たのは大変心強かったです。御二方の御蔭で円滑な編集作業にあたる事が出来ました。

東京外国語大学剣道部の伝統を示すもの一つであります『直心』の編集に関わられたことは光栄なことであります。瞬く間に幹部が変わってしまうのが本学剣道部の特徴ではございますが、本年度幹部一同円滑な運営に努めて参ります。重ねてのお願いになり大変恐縮ではございますが、皆様からのご指導ご鞭撻を頂戴できますと幸甚にございます。

最後になりますが、近年外大剣道部より足の遠のいていらっしゃる先輩方におかれましては、是非お気持ちを楽にして道場にいらして下さると幸いです。剣道具を着けずとも、来ていただけるだけで在学部員

は嬉しい限りです。次は文面ではなく道場でお会いできることを楽しみにしていますね。それでは。

(S科二年 多並怜史)





令和六年四月七日 新入生歓迎会にて



令和六年七月十四日 夏の納会にて



令和六年八月十一日 夏合宿にて



令和六年十月二十七日 府中市民体育大会秋季大会にて